

倉田部長

業務資料No. 455

# 関係諸国法令集 (原文対照) 48

オーストラリア編その1

(移 民 法)

B-4

昭和53年1月

国際協力事業団

JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY

国際協力事業団	
受入 月日 '85. 3. 12	ZOL
登録No. 11125	40
	EP

## ま え が き

豪州は、19世紀後半以来「白豪主義」という厳しい移住政策をとっていたが、その後の数度に亘る政策の改定、1972年発足した労働党政権による人種、国籍に基づく差別は一切否定した大幅な政策改定、さらに1975年より政権を担当している自由・国民地方党連合政権による先きの労働党政権の政策の踏襲及び、最近の在京豪州大使館員の「豪州は、いわゆる白豪主義を既に放棄しており、現政権の下で雇用・労使関係省より分離独立した移住・人種問題省が、全世界に配置された移住担当官を通じ、移住者の導入をはかっている」旨の発言など、豪州側の態度は、従来白人主体の移住者受入政策の変更を具体的に示している。

一方、国内においても、移住相談者の多様化にともない、最近、オーストラリア移住希望者の数も増加の傾向にある。

このような現状に鑑み、当事業団としてはオーストラリア国の諸法令に通暁しておく必要があるところから、今般「オーストラリア移民法(1968～1973)」の翻訳をすすめ、この程発刊の運びとなったものである。

ついでには、オーストラリア国への移住関係の相談・あっせん等の参考資料として十分活用されたい。

昭和53年1月

国際協力事業団  
移住調整部長

JICA LIBRARY



1042777[1]

規程集目次一承前

移民法 1958-1973

規程目次

第1章 通 則

訳文(原文)

第1条	略 称	1 (51)
第2条	開 始	1 (51)
第3条	( 廃 棄 )	1 (51)
第4条	廃棄と保留	1 (51)
第5条	解 釈	2 (51)

第2章 入国と国外追放

第1節 入 国 許 可

第6条	入国許可書のない移民はオーストラリアに入国できない	5 (54)
第7条	暫定入国許可書の取消し、期限切れと更新	6 (55)
第8条	除 外	7 (55)
第9条	入国許可はオーストラリア出国に伴い無効	9 (57)
第10条	入国許可を与えられた者は禁止移民でなくなる	9 (57)
第11条	ビザ等はオーストラリア入国の資格にはならない	9 (57)

第2節 国 外 追 放

第12条	犯罪の確定した外国人	9 (57)
第13条	入国5年以内に発生した事件に関連する移民の追放	10 (57)
第14条	弁務官の報告に基き追放される人々	10 (58)
第15条	再入国が認められない場合	12 (59)
第16条	特殊の状況の下にオーストラリアに入国する者は禁止移民 となる	13 (59)
第17条	( 廃 棄 )	
第18条	禁止移民の追放	14 (61)

第 19 条	国外追放者の被扶養者	14 (61)
第 20 条	国外追放命令の実行	14 (61)
第 21 条	国外追放者をオーストラリアに運んで来た船の船長等の連 戻しの義務	15 (61)
第 22 条	国外追放者の乗船	17 (63)
	第 3 節 船長の乗員に関する義務	
第 23 条	乗員の身分証明書の提出と点呼	18 (63)
第 24 条	船長の不在者報告	19 (64)
第 25 条	( 廃 棄 )	
第 26 条	除 外	19 (64)
	第 4 節 入国に関する違反	
第 27 条	不正入国	19 (64)
第 28 条	船長、船主、代理人および備船者に対する科料	20 (65)
第 29 条	密 航	21 (65)
第 30 条	イギリス連邦に密かに移民を入国させ、もしくは禁止移民 を隠匿する者	21 (66)
第 31 条	偽造の書類等	22 (66)
	第 5 節 検査、搜索と抑留	
第 32 条	塔乗地点の指定	23 (66)
第 33 条	船舶の入港と塔乗地点への曳航	23 (67)
第 34 条	例 外	25 (68)
第 35 条	禁止移民等の上陸禁止	25 (68)
第 36 条	港内碇泊中の船の禁止移民の監視	25 (68)
第 37 条	立入り搜索権	26 (69)
第 38 条	禁止移民の逮捕	27 (70)
第 39 条	国外追放者の逮捕	28 (71)
第 40 条	所定の当局	30 (72)

第 41 条	監護下にある者も法律上の忠告が受けられる	30 (72)
第 42 条	質問事項に対する回答を求められる者	31 (72)
第 43 条	監護下にある者の入定	31 (73)
第 44 条	捜索のための船舶抑留	32 (73)
第 45 条	罰金徴収までの船舶抑留	32 (73)

#### 第 6 節 移民取扱機関

第 46 条	解 釈	33 (74)
第 47 条	移民取扱機関としての業務を希望する者の移民局に対する 届出	34 (74)
第 48 条	省長官は移民取扱機関としての業務を営まないよう人に命 ずることができる	34 (75)
第 49 条	登録または認可の移民取扱機関と自ら呼称してはならない	35 (75)
第 50 条	最高料金	35 (75)
第 51 条	移民取扱機関の料率等の明細を提供する義務	36 (76)
第 52 条	妥当な時日内に送還する誓約	37 (76)
第 53 条	違反に関する規定	37 (76)

#### 第 7 節 一 般

第 54 条	担 保	38 (77)
第 55 条	国外追放命令書に記載された特殊事項の証明	39 (78)
第 56 条	申 立 て	40 (79)
第 56 条 A	不在船員に関する報告	41 (79)
第 57 条	その他の事項の証明	42 (80)
第 58 条	移民センター	43 (81)

### 第 3 章 特殊の児童の出国

第 59 条	定 義	44 (81)
第 60 条	( 廃 棄 )	
第 61 条	州法の維持	44 (82)

第 62 条	特殊の児童のオーストラリア国外移出を禁止	44 (82)
第 63 条	船主等の義務	45 (83)
第 64 条	( 廃棄 )	
	第 4 章 雑	
第 65 条	官吏を妨害または欺く行為	46 (84)
第 65 条 A	省長官によって承認された形式の身分証明票は引続き有効 と見なされる	47 (84)
第 66 条	起 訴	47 (84)
第 67 条	法 規	47 (84)

附 録

廃棄された移民と国外追放に関する法律の表	48 (85)
----------------------	---------

## 移民法1958-1973

### 入国、国外追放および出国に関する法律

#### 第1章 通 則

第1条 本法は、移民法1958-1973として引用される。

(略称)(略称修正; №32, 1918, S.2)

第2条 本法の勅章は、布告によってそれぞれ決定された日から効力を発揮するものとする。

(開始)

\* \* \* \* \*

(第3条は、№216, 1973, 第3条によって廃棄)

第4条

(1) 本法スケジュールに明記された法律は廃棄

(廃棄と保留)

(2) 戦争予防措置法を廃棄する法律1920-1955の第9条とその見出し、および同法のスケジュールは廃棄

(3) 本条によって修正された戦争予防措置法を廃棄する法律1920-1955は、戦争予防措置法を廃棄する法律1920-1955として引用される

(4) 本条によって実施される廃棄には関係なく、(№216, 1973, S3によって修正)

(a) 本章の発効直前、移民法1901-1949によって有効とされていた除外証明書は、本法のすべての目的上、同証明書記載の者に対し本法が許可した暫定入国許可書として認められ、かつ本法が未だ成立しない場合には、その証明書が失効する日までその者がオーストラリアに滞在することを認める。





「船舶」の類として承認した書類を意味し；

「移民」は、オーストラリアに短期滞在のため入国を意図する者、もしくは既に入国した者も、永続的に滞在する目的でオーストラリアに入国を意図もしくは入国した場合は移民として含まれる。

「船長」とは、その船舶の責任者もしくは司令者を意味し、

「乗員」は—

(a) 航空機以外の船舶については、その船の船長、または、乗員名簿としてその船舶の契約の中に氏名が記載されている者；もしくは

(b) 航空機については、その航空機の機長、またはその航空機の製造者、運営者によって雇用され、規定に従い機長によって提出されたその航空機の乗員表に氏名が記載されている者、を意味し；

「官吏」は、移民部の官吏、税関法 1901-1957 の目的に副って任命された官吏、または連邦政府、もしくは属領の警察官を意味し；

「旅券」は、オーストラリア内外の公的機関から発行された身分証明書類で、旅券の特徴を具備したものも含み；

「港」とは、宣言された海港もしくは宣言された空港を意味し；

「宣言された空港」は、税関法 1901-1957 第 15 条の下に実施された宣言によって指定された空港を意味し；

「宣言された海港」は、税関法 1901-1957 第 15 条の下に実施された宣言によって実施された海港、もしくは同法の下で設定されたものと同様に同法第 18 条の下に延長使用されている港を意味し；

「被保護者」とは、国籍および市民権に関する法律 1948-1958<sup>2</sup> に於けると同様の意味をもち；

「密航」は、オーストラリア外からオーストラリア領内の港もしくは地点に到着した船舶に、その到着時乗船中の、もしくは乗っていた者で――

(a) その船舶の純正な乗客；もしくは、

(b) その船舶の乗員でなかった者を意味し；

「暫定的入国許可」は、本法第6条6項に記載されている入国許可のことを意味し；

「属領」は、連邦の一部を構成する属領を意味し；

「所持者」とは、入国許可に関連して、入国許可が与えられた者、または入国許可の中に包含されるとみなされる者を意味し；

「船舶」には航空機を含む。

(2) 本法の目的上、オーストラリアに入国するとみなされる者は――

(a) 航空機以外の船舶でオーストラリアに到着し、その船舶からオーストラリア内に上陸する場合；又は、

(b) 航空機でオーストラリアに到着し、その航空機からオーストラリア内に上陸する時、また、もしその者が宣言された空港で上陸したなら、その空港外へ出る場合で、その場合、同人がその船舶あるいは航空機に戻る意志をもつと否とに係わりない。

(3) 本法の目的上、オーストラリアの領土外に出た者は、オーストラリアを出国をした者とみなされる。

(4) 本法の目的上、次の者はオーストラリアに入国もしくは再入国した、もしくは入国または再入国する者とみなされない――

(No 216, 1973, s3 によって修正)

(a) オーストラリアを出国した日から所定の期間内に、オーストラリアを出国した時の船舶の乗客または乗員としてオーストラリアを不在にした全期間、その船舶内にとどまり、その船舶でオーストラリアに帰着、または帰着した場合；もしくは、

(b) オーストラリア外の属領を除くいかなる国にも入国せず、オーストラリアに帰着、または帰着した場合、但し、オーストラリアを出国した時、その者に対して国外追放の命令が下された場合は、この限りではない。

(5) 前項の“所定の期間”とは、人に関しては —

(a) 30日、または、

(b) オーストラリアを出国した時点で、その者もしくはその者が所属する階級の場合により長い期間を所定の期間として承認する正式な文書が担当官のもとにあれば — その、より長い期間、を意味する。

## 第 2 章 入国および国外追放<sup>3</sup>

### 第 1 節 入 国 許 可

#### 第 6 条<sup>4</sup>

(1) 現行の入国許可を所持せぬ移民は、オーストラリア入国と同時に禁止移民となる。

(移民は、入国許可をもたずにオーストラリアに入国できない)

(I.A., s3(1)(a)参照)

(2) 官吏は、本条に従い、かつ移民の要請もしくは同意をうけて、その移民に入国許可を与えることができる。

(3) 入国許可は、省長官が承認した形式のもので、与えられる本人がオーストラリアに入国、もしくはオーストラリアに滞在、もしくはその双方が許可される旨記載されるものとする。

(4) 前項の目的上、入国許可の形式として省長官によって承認された形式の記載方式が、官吏により、その者が所持する旅券または

身分証明書に書こまれ、その記載方式が、これに該当する者の名を明記しない場合、その記載方式は、その旅券または他の書類の所持者に関連して表現されたものとして効力をもつ。

(5) 入国許可は、移民がオーストラリアに入国前、もしくはオーストラリアに入国後、与えることができる（本章の開始前たと後たとを問わない）。

(6) 暫定的入国許可として使用するために発行された入国許可は、その許可を与えられた者が特定の期間だけオーストラリアに滞在することを許す旨記載し、かつかかる許可は条件付きで与えられるものとする。

(7) 夫とともにオーストラリアに入国する婦人で、その氏名が夫の旅券もしくは他の身分証明書類に記載されている者は、入国に先立ち夫に与えられる入国許可に包含されるべきものとみなされ、入国許可に反対の文言がない限り、その旅券もしくは身分証明書類に記載されるものとする。

(8) 親とともにオーストラリアに入国する 16 才未満の子で、その氏名が親の旅券もしくは他の身分証明書類に含まれている者は、その親に入国前与えられる入国許可に包含されるべきものとみなされ、入国許可に反対の文言がない限り、その旅券もしくは身分証明書類に記載されるものとする。

## 第 7 条

(1) 省長官は、自己の完全な判断に基づき、自筆の書面をもって暫定的入国許可をいつでも取消すことができる。

（暫定的入国許可の取消し、期限満了と更新）

（I.A., s4 参照）

(2) 暫定的入国許可の実施中、もしくはその暫定入国許可の期限満了もしくはその取消し後、いつでもその所持者の要請により入国

許可が再発行されるものとするが、その再発行が、暫定的入国許可がまだ有効である内に与えられた場合、その再発行の入国許可は、現に有効の入国許可が期限満了、もしくは取消された時、はじめて効力をもつ。

(3) 暫定的入国許可の期限満了もしくは取消しの時、その許可の所持者は、その期限満了または取消しに伴い再発行入国許可が適用されない限り禁止移民となる。

(4) 本法第 10 条の規定に拘らず、前項の理由で禁止移民になった者は、禁止移民となって 5 年経過した時点で、本人に対して国外追放命令が出されていない限り、禁止移民扱いから解かれる。

(5) 権威ある官吏は、本条 3 項の規定で禁止移民となった者に対し、その指定する一定期間内にオーストラリアから退去することを命ずることができるが、その者はその要求に従わねばならない。

( 原 10, 1966, s11 で修正 )

本項の違反に対する科料は、400 ドルまた禁固 3 ヶ月。

## 第 8 条

(1) オーストラリアへ入国する移民に関連した本節のいかなる規定も下記に対しては適用されない

( 除外 ) ( I. A. , s3 (1)(i),(j),(k),(l) 参照 )

( (1) 項は 原 87, 1964, s3 ; および 原 10, 1966, s4 で修正 )

- (a) 任務遂行のためオーストラリアに入国する英国軍隊の一員；
- (b) オーストラリアに外の国の外交官または領事官または商務官、もしくはそれらの外国政府よりオーストラリアに派遣されたかかる国家代表もしくは商務官事務所の館員、もしくはかかる代表、商務官または館員の妻または被扶養者；
- (c) イギリス連邦が認めている政府の正規の軍隊に所属する船の定員で港内に停泊中、その艦船の許可を得てオーストラリアに

入国せんとする者で、次項に掲げる布告が適用されない者；

(d) その他の船舶の乗員で、その船舶が港内に停泊中、その船舶の許可を得てオーストラリアに入国せんとする者で、船長がその船の入港時に適用をうける本章第3節の規定を守る場合、次項に掲げる布告が適用されない者；もしくは

(e)(i) 省長官所持の文書により入国許可に関する本節の要求から暫定的に除外された者；または、

(ii) 上記のように暫定的に除外された階級に含まれる者で、次項に記載する布告の適用をうけない者

(2) 省長官又は権威ある官吏は自筆で、前項の(e)または(d)段で言及された者、もしくは(e)段で除外された階級に属する者について、その者へのオーストラリア入国許可もしくはオーストラリア内、滞在許可が望ましくないことを宣言することができる。

( 庶 87, 1964, s3 で修正 )

(3) 本条(1)項が適用される者がオーストラリアに入国し、その入国後も入国許可を与えられない者は禁止移民となる

( 庶 87, 1964, s3 で修正 )

(a) 同項(a)段に引用された者で、オーストラリア軍隊の一員でない者 — 本人が脱走者となるか、イギリス連邦軍の一員でなくなった時；

(b) 同項(b)段に引用された者で、その資格を失った時；

(c) 同項(c)段または(d)段に引用された者で —

(i) 本人がオーストラリアに入国または最後に入国したその港から船が出た後、オーストラリアに残留した時；又は、

(ii) その船の出航前脱走、もしくは前項に基く宣告が本人に対して出された時；又は、

(d) 同項(e)段に引用された者の場合 — 本人の行為か、省長官の

措置又は他の理由によって、その資格を失った時。

\* \* \* \* \*

(4項は、*Act 10, 1966, s4* によって省略)

## 第9条

(1) 入国許可の所持者である移民がオーストラリアを出国した場合、本人のオーストラリアへの再入国時又は再入国後、その入国許可はその者については効力を失うものとする。

(入国許可は、オーストラリア出国に伴い失効)

(2) 前項の規定も臨時入国許可でその所持者がオーストラリアを出国し、オーストラリアへ再入国する時、又はその後、次の場合には適用されない――

(a) 再入国前の6ヶ月以内に、権威ある官吏が所持者のオーストラリア不在によっても許可が失効しない旨を、その入国許可書に記載し；かつ

(b) 再入国時、入国許可が期限切れとならない場合。

第10条 禁止移民となった者が、万一入国許可もしくは再入国許可を与えられた場合には、禁止移民の取扱いから外される。

(入国許可を与えられたものは禁止移民でなくなる)

第11条 連邦政府に代って発給された代理機関のビザ、もしくは類似の記入もしくは書式は、入国許可書とはみなされず、又その者にオーストラリア入国の資格を与え、もしくは入国許可を与えたものとはみなされない。

(ビザ等は、オーストラリア入国の資格にはならない)

## 第2節 国 外 追 放

第12条 (本条の実施前又は実施後)外国人がオーストラリアで、人に対



する暴行により、もしくは金銭又は物品を暴力もしくは強奪によつて強奪、もしくはそれらの犯罪を企てたために有罪を宣せられ、或いはその他の犯罪のために一年以上の禁固に処せられた場合、省長官は、その者に科した禁固の満了時、もしくはその経過中、その外国人の追放を命ずることができる。

(有罪となった外国人)(I.A.s8 参照)

第 13 条 (本章の実施前又は実施後)本法 15 条に従い、移民が

(入国後 5 年以内に発生した事件に関連する移民の国外追放)

(I.A.s8a (a), (b), (c)参照)

(a) オーストラリアに於いて死刑もしくは一年以上の禁固によつて罰せられる罪を犯し有罪となり、その罪がオーストラリア入国後 5 年以内に犯したものである場合;

(b) 売春もしくは売春による収入をもつて、又はその一部で生活、もしくは売春を行わせる目的で人を雇つたため有罪となり、その罪がオーストラリアに入国後 5 年以内の移民によつて行われた場合;又は、

(c) オーストラリア入国後 5 年以内に、精神病院の患者又は公立慈善機関の在院者となった場合、

省長官は、その移民をオーストラリアから追放することができる。

第 14 条

(1) 外国人の行為が(オーストラリア内であると外であることを問わない)当人のオーストラリア滞在を許さない性質のものであると省長官が認めた場合、省長官は、本条に従い、その外国人の国外追放を命ずることができる。

(弁務官の報告によつて追放される人々)

(外国人国外追放法 1948. s5 参照)

(2) 次条にもよるが、オーストラリア入国後 5 年以内(本章の実施

もしくは実施後)の移民で、省長官が  
(a) その者の行為(オーストラリア内であると外であることを問わ  
ない)が本人のオーストラリア滞在を許さない性質のものであ  
る；

( I. A. s5 (2)参照 )

もしくは、  
(b) その者が連邦、又は州もしくは他の文明国の現在の政府もし  
しくはあらゆる合法機関の暴力による転覆を唱え、もしくは現存  
政府の廃止もしくは公人の暗殺を唱え、もしくは所有財産の不  
法な破壊を唱え、又は教唆し、もしくは本段に明記した教条と  
実行を宣伝かつ教唆する機関の一員である、と認める場合、

( I. A. s8a (d)参照 )

省長官は、本条に従い、その移民の国外追放を命ずることがで  
きる。

(3) 省長官は、追放の根拠を付した通告を本人に与え、その中で、  
本人が省長官の通告受領後 30 日以内に、本件が本条の目的のため  
に任命される弁務官によって考察されたい旨書面をもって要請  
しない限り、本人の国外追放を命令するものであることを伝えず  
る。本条の下で、その者の追放を命令することはできない。

(4) 前項の下で、省長官の通告をうけた者が、その通告に従い、直  
ちに本条の目的のために任命された弁務官によって本件が考察さ  
れたい旨要請した場合、省長官は書面をもって、その者が通告に  
明示した時日、場所に、又その通告に明記した弁務官の前に出頭  
するよう命ずるものとする。

(5) 本条の目的のため、弁務官は総督によって任命されるものとし、  
かつ州もしくは属領の連邦裁判所又は最高裁判所の現職の判事、  
もしくは州又は属領の高等裁判所もしくは最高裁判所に於いて 5

年を下らない経歴をもつ法廷弁護士、もしくは事務弁護士とする。

- (6) 弁務官は、次項に従って調査を行った後、本条(3)項の通告に明記された根拠が成立するものと考えるか否かを考察し、省長官に報告するものとする。
- (7) 弁務官は、法律の形式に拘らず、報告を求められる事実につき徹底的に調査し、証拠に関するいかなる法則にも拘束されず、自ら適当と信ずる方法をもって、いかなる関連の事項についても自ら調査するものとする。
- (8) 本条(3)項の下で、該当者に通告が与えられた場合、省長官は、次の場合以外、その者の国外追放を命じてはならない――
  - (a) 本件が、通告に従い弁務官によって考察されたい旨、その者が要請しない時；
  - (b) 本条の下で弁務官の前に出頭を命じられた者が、召喚状に明示された時、所に出頭しない時；
  - (c) 弁務官が、その者に関し通告に明記された根拠が正当のものであると考察する時。

第 15 条 前 2 条の目的上、オーストラリアに 2 年以上続いて在住した移民がオーストラリアを出国した場合、オーストラリアを一旦出国した後のその移民のオーストラリアへの再入国は（本章実施の開始前もしくは開始後）、次の場合以外、その移民のオーストラリアへの入国とみなされない――

- (a) 再入国の時、オーストラリアを離れて既に 5 年以上経過している者；
- (b) オーストラリア出国の時
  - (i) 臨時入国許可の所持者；
  - (ii) 当時、移入制限法 1901、又はその後の修正によって発行された除外証明書で認められていた者；

- ③ 本法，又は本法によって廃棄された法律上の禁止移民；
- ④ 国外追放の命令が出されている者。  
(再入国が認められない場合)

#### 第 16 条

- (1) 本章の実施開始前もしくは開始後，但し移入制限法 1901<sup>1</sup>の開始後，オーストラリアへ移民として入国するもの，又は入国した者が――

(特殊の状況の下にオーストラリアに入国する者は禁止移民となる)

- (a) オーストラリアへ入国するために官吏を忌避し，もしくは忌避した場合； (I. A. s5 (1)参照)
- (b) オーストラリアへの入国を確実にするため，官吏に対し，本人宛に発行されたものでない，又は偽造もしくは虚偽の申立てによって取得した許可書，証明書，旅券，ビザ，身分証明書，その他の書類を提出した場合； (I. A. s5 (2)参照)
- (c) 入国時，次の事項に該当する者，即ち：――  
(I. A. s3 参照)

(i) 指定疾病の患者；

(ii) 有罪確定の者で，1年以上の禁固を宣告された者；

(iii) オーストラリア又は他の国から追放された者，

以上の者は，本法 10 条の規定に拘らず，許可を与えた官吏が本項引用の者としてその者を認定する旨，裏書した入国許可の所持者でない限り，禁止移民として取扱われるものとする。

- (2) 本条の解釈上，禁止移民となる理由に基いて人に国外追放を命ずる目的上，本条の指定疾病に関する引用は，国外追放の発令時

に施行中の、本条の目的のために規定された疾病、もしくは肉体的又は精神的機能障害又は欠陥に対する引用として読まれねばならない。

(3) 本条に於ける“官吏”に、移入制限法 1901 とその修正の下に官吏であったものも含まれる。

(4) 本条の目的上 —

(a)(i) 本章の実施開始前、オーストラリアに入港した船の乗員、又は定員に含まれていた者；および、

(ii) オーストラリアへ入国時、もしくは入国後、船を乗て又は乗てんとする者、脱走、又は脱走せんとする者；もしくは、

(b) オーストラリアに入国する者、もしくは入国した者で（本章の実施開始前又は開始後）、その地点に官吏（警察官以外の）が駐在していない、又は駐在していなかった場合、その者は、オーストラリアへ入国の目的のため官吏を忌避した者、又は忌避する者とみなされる。

\* \* \* \* \*

（5項は、*№ 10, 1966, s5* によって削除）

\* \* \* \* \*

（17条は、*№ 216, 1973, s3* によって廃棄）

第 18 条 省長官は、本法のいずれかの規定に該当する禁止移民に国外追放を命ずることができる。

（禁止移民の国外追放）（*I. A. ss 4, 5 (6) と 7* 参照）

第 19 条 省長官が、国外追放の命令を下し、もしくは下した場合、その者の妻から願出があれば、自己の裁量で、その者の妻、又は妻と扶養の子もしくは子等の追放を命ずることができる。

（被追放者の被扶養者）（*I. A. s 8BA* 参照）

第 20 条 省長官が国外追放の命令を下した場合、該当者は、省長官がその

命令を撤回しない限り追放されねばならない。

( 国外追放命令の実行。I.A.s8c 参照 )

## 第 21 条

(1) 本法 6 条(1)項、8 条(3)項(c)段、もしくは 16 条(1)項(a)段の規定により、もしくはそれらに関連し、省長官が該当者の国外追放を命じた場合、権威ある官吏は、書面通告をもって、その者がオーストラリアに到着した船の船長、船主、代理人又は傭船者に対し、その者を連邦の負担外で、オーストラリアから連れ去るよう要求することができる。

( 被追放者をオーストラリアへ運んで来た船の船長等の義務 )

( I.A.s13A(1)参照 )

(2) 権威ある官吏は、従前の要求遵守の期間が過ぎて尚被追放者がオーストラリア内に止まっている場合、その権威ある官吏又は他の権威ある官吏が従前行った要求に拘泥せず被追放者に関する前項の要求を行うことができる。

(3) 本条(6)項に従い省長官が、本法 13 条又は 16 条(1)項の(b)もしくは(c)段の規定に基づき、もしくはそれらと関連し、該当者の追放を命令した場合、権威ある官吏は、書面通告をもって、その者がオーストラリアへ到着時乗船していた船の船長、船主、代理人又は傭船者に対し、その者がオーストラリアへ来るため乗船した地点までの乗船券を連邦の負担外で整えるよう命ずることができる。

( ㊞ 216, 1973. s3 により修正 )

(4) 本条(1)項もしくは(3)項に従って要求された者は、被追放者が乗船券に対する支払が可能、もしくは進んで支払うか、支払うことに同意するか否かに関係なく、要求をうけた日から 30 日以内、もしくは省長官の認めた延長期間内に、その要求に従わねばならない。( ㊞ 10, 1966 s11 及び ㊞ 216, 1973. s3 により修正 )

- (5) もし被告（船主等）が、上述の要求を受けた後、オーストラリアから被追放者を指示された日、指示された港で、指示された船にすすんで乗船させる旨、権威ある官吏に間違いなく通報し、しかもその日、その港に於いて、その者をその船に乗船させる官吏の監護下にその被追放人が居なかったことを証明できれば、本条(1)項の要求に対する違反とする検察当局に対する抗弁となる。
- (6) 被追放者に対して本条(3)項が適用される場合で、同項に引用された地点にその被追放者の再入国が許可されないと判断した時、省長官は、被追放者がオーストラリア以外のいずれかの地点に到達するまでの船賃又はその一部が、要求をうけた人々のすべて、又はその内の何人かによって、省長官の満足する状態で、連邦政府に支払う手筈が整えられるなら、本条で先に規程した被追放者に関する義務が実行、もしくは実行される見込みあるものとして、同項で要求をうけた人々をそれらの義務から除外するものとする。
- (7) 本条に従い要求が出ている被追放者が、連邦もしくは州の費用負担で監護されている場合、その要求をうけた者は、その被追放者の監護料に見合う金額をその要求が出た日から乗船日まで、又は前項の規定に従い除外の特典が与えられた日までの期間に対し連邦に支払う義務をもつものとし、州の負担で被追放者の監護が行われ、連邦がかかる支払を受領した場合、連邦はこれに等しい金額を州に対して支払うものとする。
- (8) 船の船長、船主、代理人又は備船者は、次のような場合、本条の下で被追放者をオーストラリアから運び、もしくはその者のために乗船券を用意することを求められない――
- (a) 被追放者のオーストラリアまでの船賃が、連邦によって、もしくは連邦に代って全額又は一部が支払われていた場合；
- (b) 被追放者が、オーストラリアに到着した時、連邦の権威をも

って行為する者による移民ビザをうけた旅券の所持者であった  
場合；

(c) 被追放者が婦人で、オーストラリア到着時、上記のように裏  
書されている旅券に保持者の妻として指名記載されているその  
旅券保持者の妻で同行者であった場合；

(d) 被追放者が、オーストラリア到着時、21才未満の者で、上  
記のように裏書されている旅券に保持者の子として指名記載さ  
れているその旅券保持者の子で同行者であった場合。

(9) 本条に於いて、被追放者がオーストラリアに到着した船の船主  
もしくは傭船者に関する引用は、被追放者がオーストラリアに到  
着した当時の船主もしくは傭船者に関する引用として解釈さるべ  
きで（引続きその船の船主もしくは傭船者であると否とを問わな  
い）、その船の代理人に関する引用は、本条の前述諸項に従って、  
その船の船主もしくは傭船者として引用されている者の、現在の  
代理人として解釈されねばならない。

(10) 本条に於いて、被追放者がオーストラリアに到着した船の船長  
に関する引用は、本条に従い行われる船長に対する関連では、そ  
の要求が行われる時の、その船の船長である者に関する引用とし  
て解釈されるべきであるが、その時点で、その船が、被追放者を  
オーストラリアに搬入した時の船主もしくは傭船者によって今尚  
所有もしくは傭船されていない限り、その船長に対してかかる要  
求を行わないものとする。

## 第 22 条

(1) 船の船長、船主、代理人もしくは傭船者は、権威ある官吏から  
書面をもって要求された場合、被追放者をその船の寄港地である  
指定の地点まで運ぶため船上に受入れ、又、権威ある官吏によ  
うして要求される期間、その被追放者の監護の任にある者を乗船させ



を請求するものとする。

料料：400ドル。

(被追放者の乗船) (1.A. ss 4(6)及び13 A(2)及び外国人追放に関する法律1948, s6)

(1)項は、*10, 1966, s11*により修正)

(2) 前項に明記の役務に対して、連邦政府は正当な船賃その他の料金を要求された通り支払う義務をもつものとする。

(3) 官吏は、被追放者が要求書の中に明記された地点に上陸を必ず許可されるとの確信を持たぬ限り、本条(1)項の要求は行わないものとし、又もし被告(船長等)が、要求を遵守したに拘らず、被追放者が要求書に明記された地点に於いて上陸を拒否されることを証明するなら、同項の違反とする検察当局に対する抗弁となりうる。

### 第3節 乗員に関する船長の義務

第23条 連邦が認めた正規の軍隊の艦船以外の、海外からオーストラリアに入港した船の船長は

(乗員の身分証明書の提出と点呼)

(1.A. ss (1)(k), 第一但書及び規則36参照)

(a) その船の入港時、乗組各員の身分証明書を所持するものとする

(b) その船の入港時、官吏の要求があれば、前段引用の身分証明書を提出する；

(*10, 1966, ss 6 及び 11*により修正)

(c) その船の出港前、官吏の要求があれば、その官吏の面前で乗員の点呼を行い、かつ本条(a)段引用の身分証明書を提出する；かつ、

(d) 前段に従って要求が行われた場合、その要求に従わずにその港



(1) 移民で—

(a) 本法 6 条の禁止移民と見なされる状況の下でオーストラリアに入国した者；

(b) 本法 8 条(3)項(a)又は(c)段が適用されるため禁止移民となる者；又は、

(c) オーストラリアに入国する許可を取得する目的で、本人宛に発行されたものでない、又は偽造、もしくは虚偽の申立てによって取得した許可書、証明書、旅券、ビザ、身分証明書、その他の書類を官吏の前に提出した者、

は、本法に対する違反者と見なされ、有罪確定すれば 6 ヶ月未満の禁固によって罰せられる。

(2) 国外追放のため乗船した追放者は、本法に規定する監護以外の目的で、オーストラリア内にあるその船から離れることはできない。  
刑罰：禁固 6 ヶ月。

(3) 本条の下で有罪が確定しても、その者に対する国外追放、場合によっては再命令の実施を妨げるものでなく、かかる有罪確定による禁固も国外追放のために中止されるものとする。

(4) 本条の下で有罪となった者が、その有罪に対して上告した場合、その上告の公判に出席するため、それぞれ 1,000 ドルの保証をし、それぞれ権威ある官吏によって認められた 2 名の保証人をたてない限り、その者は保釈されないものとする。

( 1966, s11 により修正 )

第 28 条 ( 船長、船主、代理人および備船者に対する科料 )

( 1. A. , s9 参照, 1966, s11 により修正 )

(a) オーストラリアに船で入国し、入国許可書を所持していないため入国と同時に禁止移民となった場合；

(b) 本法 8 条(1)項(d)段に引用された船の乗員で、同条(3)項(c)段の運

用によって禁止移民となった場合；

- (c) 国外追放のため乗船させられた追放者が、本法に言う監護以外の方法でオーストラリア内にある船から離れた場合、その船の船長、船主、代理人又は傭船者は、それぞれ本法違反の罪に問われ、1,000 ドルを超えない罰金を科せられるものとする。

#### 第 29 条

- (1) 1 名以上の密航者を乗せオーストラリアに入港した船の船長、船主、代理人又は傭船者は、それぞれ本法違反の罪に問われ、密航者 1 名につき 1,000 ドルを超えない罰金が科せられる。(密航者)

(1.A., s9 A 参照, (1)項は 10. 1966. s11 により修正)

- (2) もし前項の違反を犯した船長が 1 年以内に前項同様の違反をなし有罪となれば、密航者 1 名につき 2,000 ドルを超えない罰金が科せられる。( 11. 1966, s11 により修正 )

- (3) もしその船の船長が、港もしくは地点に到着後直ちに官吏に対し密航者乗船中の旨通告し、かつ官吏が本人を訊問する機会をもつまで密航者の上陸を禁ずるなら、本条(1)項の密航者に関する規定は適用されない。

#### 第 30 条 (連邦内に密かに移民を運び入れ、もしくは禁止移民を隠匿する者) (1.A., s12A 参照)

- (1) 何人も下記の事項を行ってはならない —

- (a) 移民が密かに、もしくは官吏の眼をくらしオーストラリアに入国を企図したことが明かに推定されるような状況の下で、移民をオーストラリアに運び入れること；
- (b) 移民を密かに、もしくは官吏の眼をくらしオーストラリアに入国させる意図をもって隠匿すること；又は、
- (c) 官吏による発見を防止する意図をもって禁止移民、又は国外追放者を隠匿すること。

(2) 何人も次のことをしてはならない。— (1) の目的を以て移民  
法 (1958年) (派 10, 1966, s11 により修正) の目的を以て

(a) その者が禁止移民となるような状況下で、その者がオースト  
ラリアに入国、もしくは残留することを助助又は扇動すること  
を以てし、又は、

(b) 事情を知りながら禁止移民もしくは国外追放者を隠匿すること  
を以てし、又は、(1) の目的を以て、(1) の目的を以て、(1) の目的を以て、  
罰金 400 ドル又は禁固 6 ヶ月。 (1) の目的を以て、(1) の目的を以て、  
第 31 条 (偽造の書類) (1, A, s12 と規則 17 および 18 参照)

(1) 誰でも移民のオーストラリア入国又は入国申し入れに関連して  
次のことをしてはならない。—

(a) 官吏に対し、偽造もしくは虚偽の書類を提出すること；

(b) 当人もしくは他の者が、書類に記載された者に相違ないと偽  
りして、又は、(1) の目的を以て、(1) の目的を以て、(1) の目的を以て、

(c) 官吏を欺き又は誤認させるような意図をもって書類を提出す  
ることを以てし、又は、(1) の目的を以て、(1) の目的を以て、(1) の目的を以て、

(d) 重要な記事について虚偽又は、わざらわしい説明、又は情報  
を以てし、又は、(1) の目的を以て、(1) の目的を以て、(1) の目的を以て、  
めに提出すること。

(2) 何人も、使用する資格のない者のオーストラリアへの入国、も  
しくは国内残留を助助する目的で、もしくは書類がその目的のた  
めに使われることを知りながら、その書類を他に移転し、もしく  
は手離してはならない。

罰金 400 ドル又は禁固 6 ヶ月。

(派 10, 1966, s11 により修正)

第5節 検査、搜索および抑留

第32条 (塔乗地点の指定) (税関法1901-1957, s15参照)

(1) 総督は布告をもって、本法遂行のため、港内の一地点を塔乗地点として指定することができる。

(2) 港内の塔乗地点が暫定的に指定されたものか、税関法1901-1957の下で継続使用されている場合、その塔乗地点は、本条の下で本法遂行上その港に設けられた塔乗地点として認められる。

第33条 (船舶の入港と塔乗地点への曳航)

(税関法1901-1957, s52参照。(1)項は 1966, s11により修正)

(1) 海外からオーストラリアに入国した船の船長は、天候、その他止むを得ない事由によって強制されない限り港以外の地点に入ってはならない。

科料：1,000ドル

(2) 海外から到着し入港又は、寄港しようとする船の船長は (税関法1901-1957, s60参照。1966, s11により修正)

(a) 権威ある官吏から要求された場合、その港に対して指定された塔乗地点にその船を本法で行われる塔乗のために曳航し；か

(b) 権威ある官吏によって出港が許可されて出港する場合を除きその塔乗地点から船を移動してはならない。

科料：1,000ドル。

(3) 海外からオーストラリアに到着する航空機の機長は、最初に下記の空港に着陸するまでは他のいかなる布告空港にもその航空機を着陸させてはならない。

(1966, s11により修正)

- (a) その航空機がオーストラリアに入国した場所に最も近いものとして塔乗地点が指定されている布告空港；又は、
- (b) その航空機もしくは、その航空機も包含される機種の航空機が海外からオーストラリアに到着する際着陸可能の空港として権威ある官吏が書面で承認した塔乗地点が指定されている他の空港。

料料：1,000ドル

- (4) エアサービスに従事もしくは海外の一地点からオーストラリアの一地点へ乗入れを業としている航空機の機長は――

( 10, 1966, s11 により修正 )

- (a) 塔乗地点が指定されていない布告空港にその航空機を着陸させてはならない；
- (b) 布告空港に航空機を着陸させた後、可能な限り早くその空港内の指定塔乗地点に塔乗に供するためその航空機を移動すること；かつ、
- (c) 権威ある官吏によって許可が発行されるまで、その航空機を塔乗地点から移動してはならない。

料料：1,000ドル

- (5) もし有罪と認められた者が、天候その他止むを得ない事情によってこの規定に従うことができなかつたことを実証するなら、前2項何れかに対する違反を主張する検察側への抗弁となる。
- (6) 船が塔乗地点にある間、官吏は本法実施のため、その船に乗船し、かつ滞留することができる。
- (7) 船の船長は、官吏が本条の下に乗船し、かつ本法実施のために執行する任務を助けるため官吏の正当に要求するすべてのことに協力するものとする。

本項のいかなる違反に対しても料料400ドル。

( 1966, s11 により修正 )

第 34 条 前項の規定を船舶に適用することが本法の目的上最早必要でない  
と省長官が判断した場合、省長官は自書してその船の船長をこの規  
定を遵守する義務から除外するものとする。

( 除外 )

第 35 条 ( 禁止移民等の上陸禁止 ) ( 1. A., ss13 および 14 参照 )

(1) 官吏は —  
(a) 入国すれば禁止移民となる者のオーストラリアへの入国を予  
防し；又は、  
(b) 乗船した船から国外追放者が離脱することを阻止するものと  
し、  
かつその目的のために必要な措置をし、かつ力を行使するもの  
とする。

(2) 船長は、前項の下で官吏に認められているすべての措置を乗船  
者に対して行うものとする。

第 36 条 ( 港内停泊中の船の禁止移民の監護 ) ( 1. A., s13c および規則  
7 参照 )

(1) オーストラリアでの第一寄港地たると否とを問わず、その船の  
入港時、乗船中の者が密航者、又はオーストラリアに入国すれば  
禁止移民 ( 本条では the prohibited immigrant … その禁止  
移民として引用 ) となるべき状況の下で入国を意図する者と官吏  
が正当に判断する者は —  
(a) 権威ある官吏が指令する場合；又は、  
(b) その船の船長が要請し、権威ある官吏がそれを承認した場合、  
官吏によつて上陸させられ、その船がオーストラリア内の最終  
寄港地から出港するまで、もしくは権威ある官吏が命ずるそれよ  
り早い時まで、権威ある官吏が命ずるような監護の下におかれる



ものとする。

(2) 前項により、監護下にある者は、官吏によっていつでも船に送り替えられ、又は他の船の船長の同意を得て、その船に乗船させることができる。

(3) その船の船長、船主、代理人および備船者は、本条(1)項に従って行われる監護下にある禁止移民の監護に要する費用、およびその禁止移民とその監護人の船から監護地までの費用、又、もしその禁止移民が監護地からその船または他の船に戻るのであれば、その監護地からその船または他のその船までの費用、に相当する金額を連邦政府に連带的に、かつ個々に支払うものとする。

(4) 本法の目的上、本条(1)項に従い上陸した、それだけの理由で、その者がオーストラリアへの入国を認められたものとみなされてはならない。

#### 第 37 条 (立入り捜索権)

(1.A., SS9B と 14B および規則 8, 9 と 10 参照)

(1) 官吏は、密航者、又はオーストラリアへ入国すれば禁止移民として扱われる者が入国の機会を狙っているに相違ないと推定した場合、いつでもその船に乗船し船内を捜索することができる。

(2) 船長は、前項の下に乗船し捜索する官吏の正当な要求に対してあらゆる協力をするものとする。

( 1966, S11 により修正 )

料料：400 ドル。

(3) 権威ある官吏は、所定の書式に従った捜索令状を官吏に与えるものとする。

(4) 捜索令状の効力は3ヶ月を超えないものとし、明記された期間の満了に伴い失効するものとする。

(5) 本条の下で当人に対して発行され、かつ効力の持続する捜索令

令状を所持する官吏は、昼夜を問わず、下記に関係があることが十分確信に推定される建物、地所、船舶又は場所に入り捜索をすることができる。

(a) 禁止移民又は国外追放者；  
(b) その者によって行われる仕事のために条件付きで臨時入国許可書を付与された者；又は、

(c) 禁止移民になる可能性をもち、もしくは禁止移民となる状況にある者の入国又は入国申入れに関係ある文書、帳簿、もしくは書類、

かつ、かかる文書、帳簿、もしくは書類を押収し、その官吏の必要と認める期間拘置することができる。

(6) 官吏は、本条による権限を行使するため、いかなる船舶又は車両をも停止することができる。

(7) 本条の権限を行使する目的で、官吏は必要と思われる正当な力を行使することができる。

### 第38条 (禁止移民の逮捕) (1. A., S14A 参照)

(1) 官吏は令状をもたずに禁止移民と正当に推定した者を逮捕することができる。かつ逮捕された者は、本条に従い、その官吏又は他の官吏の監護下におかれるものとする。

(2) 本条に従って官吏が人を逮捕した場合、その官吏は逮捕された者に対し、直ちに逮捕の理由を説明し、かつその官吏又は監護の責任にある他の官吏は、逮捕後 48 時間以内に、所定の当局にその者を連行しなければならない。もしその期間内にその者を所定の当局に連行することが可能でなければ、その期間後の連行可能となる出来るだけ早い時期に連行するものとするが、もし逮捕された者が所定の当局の前に上記のように連行されない場合は釈放されなければならない。

(3) 本条の下で人が所定の機関に連行されてきた場合、所定の当局はその者が禁止移民であると推定するのに十分な根拠があるか否か尋問するものとし、もし所定の当局がかかる正当な根拠があると判断した場合、所定の当局が、かく判断することは省長官がその者を禁止移民にすべきか国外追放に処すべきか考察するため、当然必要であるので、書面でその者を発令の日から7日を超えない期間監護抑留することを命ずることができる。さもなければ、所定の当局はその者を釈放する命令を与えなければならない。

(4) 所定の当局は、前項に引用された抑留期間を随時延長することができる。

(5) 次項に規制されるが、本条規定の抑留期間の満了時、その者は釈放されねばならない。

(6) もし、その者が本条の監護下にある間、官吏が(所定の当局に連行される前であると後であるとを問わない)その者に対し国外追放命令がでている旨通告すれば、本条各項のその者に対する適用は取止められ、その者は、その者を監護中の官吏によって次条の規定の下に逮捕された者と見なされなければならない。

(7) 本条のいかなる規定にも拘らず、権威ある官吏は、本条下で監護中の者の釈放をいつでも命ずることができる。

(8) 本条のいかなる規定も、また本条の下で行われる、いかなる行為も、州もしくは属領の最高裁判所又は高等裁判所が、その者を禁止移民に非ずと判決した場合、本条規定の監護下にある者に与えられる釈放命令の実施を妨げることはいかなる場合もできない。

#### 第 39 条 ( 国外追放者の逮捕 ) ( 1.A. ; S14C 参照 )

(1) ある者に国外追放命令が出ている場合、官吏は令状なしで、該者に相違ないと判断した者を逮捕することができ、逮捕された者は、本条(6)項に従い国外追放者として本条の規定の下に監護さ

れるものとする。

(2) 本条に従い官吏が人を逮捕した場合、その官吏は逮捕された者  
に対し、直ちに逮捕の理由を説明し、もしその者の要請があれば  
可能な限り早い時期に、その追放命令の詳細を知らさねばなら  
ない。

(3) もし本条下で逮捕された者が、逮捕後 48 時間内に、追放命令  
の該当者でない旨申立てれば、その者を監護中の官吏は、その旨  
を制定法の宣言書とするよう勸告し、かつ逮捕された者がかかる  
宣言をしてから 48 時間以内に所定の当局まで連行し、又もしそ  
の期間内にその者を所定の機関に連行することが可能でなければ、  
その期間後できるだけ早い時期に連行し、かつもし逮捕された者  
が所定の当局まで以上のように連行されなかった場合、その者は  
釈放されなければならない。

(4) 人が本条の下で所定の当局まで連行された場合、所定の当局は、  
その者が国外追放者であると推定するのに正当な根拠があるか否  
か、尋問し、もし所定の当局がかかる正当な根拠があると判断し  
た場合、その当局は書面でその旨宣告する。

(5) 前項に従って所定の当局が宣告をする場合、逮捕された者は次  
項に従い国外追放者として監護下におかれる。さもなければ、所  
定の当局はその者の釈放を命じ、その者は従って釈放されるもの  
とする。

(6) 国外追放者は、省長官もしくは官吏が指令する期間、監護下  
におかれる —

(a) 追放実施の時、即ち追放のためその者が乗船させられるまで

(b) その者の乗船後、その船が寄港するオーストラリア内の港、  
もしくは地点まで；もしくは、

(c) 船がオーストラリア内の最後の港、もしくは寄港地から出発

するまで。

(7) 本条のいかなる規定にも拘らず、権威ある官吏は、本条により監護下にある者の釈放をいつでも命ずることができる。

(8) 本条のいかなる規定も、また本条の下で行われるいかなる行為も、州又は属領の最高裁判所もしくは高等裁判所が、その者に関する有効な国外追放命令が存在しないことを理由に、本条規定により監護下にあるその者に与えられる釈放命令の実施を妨げることはできない。

#### 第 40 条 ( 所定の当局 )

(1) 省長官は、前 2 条の目的のため、所定の当局として、連邦判事もしくは州、又は属領の最高裁判所の判事、もしくは州の高等裁判所又は最高裁判所で 5 年以上の経歴をもつ法廷弁護士又は事務弁護士の内 1 名を任命することができる。

(2) 総督は、州の総督諮問機関とはかって、その州の警察官、治安判事又は特別判事 ( Special magistrate ) の職にあるものによる前 2 条の所定の当局の機能について、その実施方法を取極める。

(3) 前項の取極めに関する通告は、官報<sup>6</sup>に記載する。

(4) 本条(2)項の取極めが実施されている場合、その取極めに明記された職にある者が前 2 条の目的を遂行する所定の当局である。

(5) 属領の警察官、治安判事又は特別判事の職にあるものは、前 2 条の目的を遂行するための所定の当局である。

(6) 所定の当局は、要求される尋問事項について法律の形式に拘らず徹底的に調査を行い、かつ、いかなる証拠の法則にも拘束されず自ら最適と信ずる方法をもって関係事項を調べるものとする。

#### 第 41 条 ( 監護下にある者も法律上の忠告が受けられる )

本法の下で監護下にある者の要請がある場合、その者の監護者は、

その者が本法の目的に副う制定法の宣言書を作製するため、もしくはその者の監護に関連する法的な忠告をうけ、又は手続がとられるようあらゆる便宜を提供するものとする。

第 42 条 (質問事項に対する回答を求められる者)

(規則 14 および 15 参照)

(1) 逮捕され、本法の下で監護下にある者が禁止移民か、国外追放される者であるかを決定する目的で、官吏はその者に対し必要と想定する質問を行い、かつその者を一つの場所から他の場所に移動させることができる。

(2) 官吏がその者に対し求められた質問に答えるよう通告したあと前項に従って質問をする場合、その者は—

- (a) その質問に対して回答を拒んではならない；もしくは、
- (b) その質問に対して、虚偽又は重要な内容につき、紛らわしい説明をしてはならない。

罰金：400 ドル又は禁固 6 ヶ月。

(1966 年 10 月 10 日、S11 により修正)

(3) 前項を人に対する質問について適用する場合、自己の回答が有罪化につながる恐れあることを理由にその者が回答を回避することは許されないが、その質問に対する回答は、本条関係の訴訟以外、本人に対するいかなる訴訟に於いても証拠として使用されないものとする。

第 43 条 (監護下にある者の人定)

(規則 14 参照)

本法に基づき人が監護下にある場合、権威ある官吏は、その者の

現在もしくは将来の入定に資するため、その者の写真、測定又はその他の記録方法など、当然必要と思われる措置を講ずるものとする。

第 44 条 ( 捜索のための船舶抑留 )

( 1. A. , S9C 参照 )

(1) 権威ある官吏は、通告書の日付より 1 ヶ月を経ない期間にオーストラリアに到着した船の船長に通告書を与え、密航者又はオーストラリアに入国すれば禁止移民となる状態にある者の乗船を確認する目的で行う捜索のため、その通告に明記した妥当な期間、一つの港又は地点に停泊することを命ずることができる。

(2) 本条の下で命令をうけた船の船長は、その命令に明記された期間、その権威ある官吏の同意を得ないで、その船を移動させてはならない。( 庶 10, 1966, S11 により修正 )

罰金 : 1,000 ドル。

第 45 条 ( 罰金徴収までの船舶抑留 )

( 1. A. , s10 参照 )

(1) その船の船長、船主、代理人又は傭船者が本法上の違反者であると権威ある官吏が判断した場合、その権威ある官吏は、自書の命令書をもって官吏に船の抑留を命ずることができる。

(2) 前項に従って命令が与えられた場合 —

(a) その命令書に明記された官吏は、発見された地点でその船を抑留、もしくは、権威ある官吏が指示する他の地点に回航させその地点で抑留するものとする ; かつ、

(b) その権威ある官吏は、直ちにその船の船主、傭船者又は代理人に抑留通告書を与えるものとする。

(3) その船の抑留およびその他の合法的な処置の目的遂行のため、命令書に明記された官吏は、船舶又は貨物の押収に関する税関関連の法規の下で取得できる補助令状もしくはその他の援助を取得することができる。

(4) 本条による船舶の抑留は、申立てられた違反に対して課せられる罰金の支払について、船の船長、船主、代理人又は傭船者が権威ある官吏も満足する資格十分な2名の保証人を揃えた保証書を提出すれば執行を取止めるものとする。

(5) 本条による船舶の抑留中、本法の違反に対して課された罰金が支払われなかった場合、権威ある官吏は、その船を押収することができ、かつ税関関連の法律違反によって押収された船舶の場合と同様、その船を没収かつ処分する手続がとられ、その船は売却されるものとする。

(6) その売却代金は、まず前項に引用された罰金と、その罰金が課せられた場合の、もしくは売却の前後に行われた手続および売却までの手続の諸費用に充当され、かつ残額は、処分と売却以前その船について利害関係をもっていた船主及びその他の者に支払われるものとする。

## 第6節 移民取扱機関

### 第46条 (解釈)

(1.A., s14E参照)

本節の目的上、下記事項に関連して、自ら提供もしくは提供すべきサービスに対して手数料、口銭又はその他の報酬を要求、もしくは



は収受する者は、移民取扱機関としてみなされる。

(a) オーストラリアへ移民として入国する目的で行う連邦の省長官、関係局、又は当局宛の申請書又は申立書；又は

(b) オーストラリアへ移民として入国する者のために乗船券を整え、もしくは入手すること。

第 47 条 (移民取扱機関として希望する者の移民局に対する届出)

( (i)項は、*第 10, 1966, s11* および *第 216, 1973, §3* により修正 )

(1) 下記のことを実施せずに移民取扱機関として営業することは許されない。

(a) 所定の書式を用い所定の事項を記載し、移民取扱機関として営業したい旨、移民局長あて届出ること；かつ、

(b) その届に対して受領書を受取ること。

罰金：400ドル又は禁固6ヶ月。

(2) 前項(a)段に引用された届出を受取った移民局長は、その届書に明記されたその者の住所あて、その届出に対する受領書を送達するものとする。

(3) 本条の届出をなす際、重要な事項について虚偽の、もしくはわずらわしい情報を提供してはならない。( *第 10, 1966, s11* により修正 )

罰金：400ドル又は禁固6ヶ月。

(4) 本条(i)項は、本章の開始前の、移民法 1901-1949 の下で登録している代行業者には適用されない。

第 48 条 (省長官は移民取扱機関としての業務を営まないよう人に命ずることができる) ( 1.A., s14F 参照 )

(1) その者が移民取扱機関としてふさわしくない者と省長官が判断した場合、省長官は書面で、その者に、移民取扱機関として営業しないよう命ずることができる。

(2) その者に対して前項の指令が行われた場合、その者は —  
( 庶 10, 1966, s11 により修正 )

- (a) 移民取扱機関として営業を行ってはならない；
- (b) 自己を移民取扱機関として記載、もしくは移民取扱機関の業  
務の提供を営み、又はその準備をする者と呼称してはならない；もしく  
は、
- (c) 本法 46 条に引用された種類のサービスを行い、もしくは、  
そのサービスを提供する準備中の者として広告してはならない。

科料：400ドル又は禁固6ヶ月。

(3) 本条(1)項記載の命令を与えられた者は、本法 46 条に引用され  
た、いかなる種類の手数料、口銭又は他の報酬を要求したり、差  
引いたりしてはならない。

第 49 条 (登録又は認可の移民取扱機関と自ら呼称してはならない)

( 庶 10, 1966, s11 により修正 )

移民取扱機関として営業するため登録又は認可されたことを示唆  
する表現をもって自己を説明してはならない。

科料：400ドル又は禁固6ヶ月。

第 50 条 (最高料金)

( I . A . , s14-L 参照 )

(1) 本法 46 条に引用された種類のサービス料金は法規によって規  
制するものとし、本項の規定によって制定された法規は、その法  
規の施行中行われたサービスに対して適用される。

(2) 本法 46 条に引用された種類のサービスで、そのサービスに対  
する最高料金が制定されていないサービスの提供を申出で、又は  
本章の開始後提供し、又、もしそのサービスが提供された時制定  
されてなかった時は、その事情に応じ、省長官は、そのサービス  
に対する最高料金を決め、その者に書面をもって通告することが

できる。

(3) 省長官は、そのサービスが提供された後、1年以上経てからその最高料金を決定してはならない。

(4) 本条に従いサービスに対する最高料金が制定又は決定された場合、いかなる契約条件にも拘らず、そのサービスに関し、前にそのサービスについて領収した金額を加え、以上のように制定もしくは決定された最高料金を超える金額を要求、もしくは受取ってはならない。( 10, 1966, s11 により修正 )

料料：400ドル又は禁固6ヶ月。

(5) その最高料金が制定もしくは決定される前と後とに拘りなく、前項引用のサービスに関連して受取った金額は、その最高額を超過した額だけ払戻されるべきであり、管轄司法機関の法廷に訴訟して、取戻すことができる。

#### 第 51 条 ( 移民取扱機関の料率等の明細を提供する義務 )

( 1 . A . , s14M 参照 )

(1) 権威ある官吏の通告書によって要求を受けた者は、その権威ある官吏に対し、その者が徴収、又は徴収しようとする手数料、口銭又はその他の報酬の明細、もしくは本法 46 条に引用された種類のサービスに関してその者が作製した契約、又は契約申入れの明細を提供せねばならない。

(2) 何人も一

( 10, 1966, s11 により修正 )

(a) 本条の下で提供を求められた明細につきその要求の中に明記された期日内に提供することを拒絶、又は怠ってはならない；もしくは、

(b) これらの明細の中に、又はそれに関連して虚偽の記述をしてはならない。

科料：400ドル又は禁固6ヶ月。

第52条（ 妥当な期日内に送還する誓約 ）

（1.A., s14N参照, 1966, s11により修正）

本章の開始以前たると以後たるとに関係なく、オーストラリアへの移民を希望している者に対し輸送の便をはかる約束をし、その対価として金銭の支払いを受けた場合、省長官は、その者に対する書面通告をもってその輸送が行われる時期を決定し、かつかかる決定が行われた場合、その者は、いかなる契約条件にも拘らず――

- (a) 省長官によって決定された期日内にその輸送を実施するか、もしくは、
- (b) その期日内に、支払いをした者にこれらの金額を返却しなければならない。

科料：1,000ドル又は禁固2年。

第53条（ 違反に関する規定 ）

（1.A., s14P参照。(1)項は1966, s11により修正）

(1) 本節に対する違反者が法人である場合、その違反に対する科料は――

- (a) 本条の違反に対する所定の科料が、400ドル又は禁固6ヶ月の場合――800ドルを超えない罰金；又、
- (b) 本条の違反に対する所定の科料が、1,000ドル又は禁固2年の場合――2,000ドルを超えない罰金、である。

(2) 本節に対する違反によって法廷で人が有罪を宣告され、他の者がその違反によって損害を被っている場合、法廷は、その違反者に対して課した科料に追加して、損害を被った者に対し、その法廷が適当と考える金額、又は他の方法による賠償を支払うよう違反者に命令することができる。

(3) 法廷が本条の下で金銭による賠償を行うよう命令した場合、そ

の法廷の書記又は他の適当な官吏が作製し、支払金額、支払者、受取人を明記した証書を、その金額の限度まで民事上の管轄権をもつ法廷に預託することができ、その法廷はこれを最終判決として実施に移すものとする。

- (4) 本条の目的上、本法第50条(4)項に対する違反により有罪を宣告され、そのサービスに関連して金額がその違反者から要求された者、もしくはそのサービスに対して最高料金を超えた金額を支払った者がいる場合、その者は、その超過した金額の限度内で、その違反によって損害を被った者とみなされる。

#### 第7節 一般

#### 第54条 (担保)

(1. A., s14Dおよび税関法1901-1957; s48 参照)

- (1) 権威ある官吏は、本法の規定もしくは法規に従い、もしくは、本法又は法規の目的遂行のため課される条件に従い、下記の提出を求め、担保に当てるものとする —
- (a) 現金、国庫債券、又は譲渡不能の証書と省長官承認の形式による供託書；又は、
- (b) 省長官の承認する担保形式に従ったもの。
- (2) 省長官承認の形式に従い提出された担保は、封印はされないが封印したと同様に、かつその担保に別の条件が付されてなければ、全額に対して連带的に又個々に、供託者を拘束するものとする。
- (3) 本法の下で供託された担保が裁判に付され、それ以外に他の証拠が提出されない場合、被告等が担保の条件を遵守した事実を証明しない限り、担保を実行したと推定される者に対するその被告等の既述の債務もしくは彼等の担保不実施について、又は担保の

解除，もしくは担保の履行について，判決をくだすものとする。

(4) 法廷が，本法の下で行われた担保の条件が守られていないと判断する場合，その担保は実施済みもしくは要求解除になったものとはみなされず，かつ供託者は下記の理由によって債務を解除された者又は債務を完済した者とはみなされない —

- (a) 期限延長，その他の譲歩；
- (b) 従前の条件違背に対する同意又は黙認；
- (c) 従前の条件違背が発覚した際行われた供託者に対する不起訴処分。

第 55 条 ( 国外追放命令書に記載された特殊事項の証明 )

( 1 : A. , s 5 ( 3 ) , ( 3 A ) , ( 3 B ) , ( 3 C ) ; ( 4 ) , ( 4 A ) 参照 )

(1) 国外追放命令書の効力もしくは適用が法廷に於いて審議される時，その国外追放命令書，もしくはその国外追放命令書の写しとして省長官の手書によって証明された書類の提出は，その命令が与えられた者について，下記の記載，即ち —

- (a) オーストラリアに於いて出生していない事実；
- (b) 本人が現に外国人であるか，従前外国人であった事実；
- (c) 特定の日付前又は後にオーストラリアに入国した事実；
- (d) オーストラリアに入国時，もしくは特定の日時に，入国許可の所持者，もしくはその入国許可書の中に氏名が記載されていない者である事実；
- (e) 期限満了，又は取消された臨時入国許可書の所持者であった事実；
- (f) 本法規定の解釈からみて，オーストラリアへ入国する目的のために官吏を回避したと考えられる者である事実；
- (g) オーストラリアへの入国を確実にするため，自己に対して発行されたものでない，もしくは偽造の，又は虚偽の申立てによ

って入手した許可書、証明書、旅券、ビザ、身分証明書、その他の書類を官吏に提出した者である事実、があり、別に反証があげられない場合、その記述事項の証明とみなされる。

- (2) 国外追放命令を受けた者のために使われる前項引用の反証は、その者の個人的証拠によるものとし、その他の証拠を伴っても伴わなくともよい。
- (3) 本条(1)項(c)(d)(f)又は(g)段に引用された事項に関する個人的反証は(その者がオーストラリアで出生したことを証明しなければ)、その者の個人的証拠の中で、オーストラリアに渡航した際の船名、又航空機の場合は、その航空機の持主又は運航者の名、及びオーストラリア入国の日と地点を真実に述べない限り、提出されたものはみなされない。
- (4) 裁判の一方の当事者が、本条の目的のための反証として提出した証拠を反駁するための証拠を入手するため裁判の延期を求める場合、法廷は、その目的のために必要と考えられる期間に亘り、裁判の延期を許可するものとする。
- (5) 本条の目的上の事項に関連し、反証として個人的証拠を提出した裁判に於いて、その者は自己の答弁が自らを有罪者、又は被料者とする懸念があるという根拠から答弁を回避することはできないが、その答弁は文書偽造によって起訴される以外、他のいかなる裁判に於いても証拠として使用されてはならないものとする。
- (6) 本条のいかなる規定も、国外追放命令もしくは国外追放命令書の写しの提出により本条の下で証拠が求められる事項の立証の責任を当事者に与えるものと解釈されてはならない。

#### 第 56 条 (申立て)

(1. A., s5 (3), (3A), (3B), (3C), (4) (4A) 参照)

- (1) 本法 27 条に関して行われる起訴で、前条(1)項の各段に明記さ

れた事項について論じた告発又は告訴の中に含まれる検察官の主張は、他の証拠を伴う、又は伴わない被告の個人的証拠による反証が存在しない場合、証明されたものとみなされなければならない。

- (2) 前条(3)、(4)及び(5)項の規定は、その条に従い国外追放命令書、もしくは国外追放命令書の写しが証拠として認められる裁判に於けると同様に検察官が本条に従って事実の主張をする裁判についても適用される。

第 56 条(A) (不在船員に関する報告)

( 1966, s8 により挿入 )

(1) 海外からオーストラリアに入港した船がオーストラリアの港から出航の時、又は出航後、その船の船長、船主、備船者又は代理人が官吏に対し、その船がその港に到着した時その船の乗員であった者が、その船の出航時不在者となり、かつその乗員が許可を得て、もしくは無許可で、離船したことを書面をもって報告すれば、その報告書は、本法の下もしくは本法に関連して裁判が行われる場合 —

(a) その報告書に、その乗員が許可を得て離船した — 乗員が許可を得てその船が停泊中離船し、かつその船が出航した後、オーストラリアに残留したことを述べ；もしくは、

(b) その報告書に、その乗員が無許可で離船した — 乗員が許可なくしてその船が停泊中離船し、かつその船が出航した後、許可なくオーストラリアに入国した事実、を記載していれば、その記載事項は証拠となる。

(2) 海外からオーストラリアに入国した船が、オーストラリアの港に停泊中、その船の船長が官吏に対し、定員の一人もしくは乗員の一人が、その船の入港時乗船して居り、かつ —



- (a) その船がその港に停泊中、許可なくして離船し；もしくは、
- (b) その船がその港に停泊中、許可を得て離船したが、許可なくして不在者となったことを、書面をもって報告すれば、その報告書は、本法の下もしくは本法に関連して裁判が行われる場合、その報告の記載事項に関する証拠となる。

第 57 条 (その他の事項に対する証明)

(1.A., s5 (3) (3A), (3B), (3C), (4) (4A) 参照)

( 1964, s4, 及び 1966, s9 により修正 )

国外追放命令に関連し、本法の下で行われた裁判で —

- (a) 連邦又は州又は属領の公文書、書簡、電信、又は書簡及び電信の写し、公式に保管中のものから提出された官吏によって送達又は作製された宣誓書は、その裁判に関係ある事項について情報もしくは説明をしている場合、その情報もしくはその事項の証拠として認められる；

- (b)(i) 身分証明票として作られた文書、もしくは人定用の文書でその文書に関連をもつ者の個人的特徴を記入、写真を貼付したものが、特定の船の船長、船主、備給者又は代理人によってその船が特定の日にオーストラリアに入港した時、その船の乗員の一人であった者に関連し、官吏宛に送られた文書であることを証明するため、官吏によって署名された証明書とともに提出され；又、

- (ii) この裁判と関連をもつ特定の者のものと信じられ、もしくは信ずるに足る個人的特徴に関する記述と写真、

が法廷に提出された場合、その文書と写真は、その文書に記載されている者に関するもので、かつその日、その港にその船が到着した時、その船の乗員の一人であったことを示す証拠となる；

- (c) 本法の実施に関連する事項について、船の船長、船主、備給者

又は代理人から官吏宛に提出され、公式に保管中の報告を提出することは、その文書がかかる報告であることの証拠となる；

- (d) その者がその船でオーストラリアに入国又は出国したことを証明する目的で、その船の乗客名簿、もしくは法規に従って提出されたその船の乗客カードは証拠として認められ、かつその者と同一の氏名を記載した乗客名簿又は乗客カードの提出は、反証がない限り、その者がその船からオーストラリアに入国又その船でオーストラリアを出国したことの証拠となる；又、
- (e) オーストラリア以外の地点で特定の犯罪（未遂を含む）により有罪となり、その罪によって特定の刑を受けたことを証明する目的で、指紋の記録、写真及び文書、又はその写し、及び指紋の記録、写真又は文書及びその写しに関する証明書が —
  - (i) 連邦又は州又は属領の警察もしくは刑務所の保管から法廷に提出され；
  - (ii) オーストラリア外の警察、刑務所又はこれに準ずる当局によって証明、又は発給されたもの、である場合は証拠として認められ、かつかかる証明書は、その中に記述された事項の証拠となる。

#### 第 58 条 （移民センター）

- (1) 省長官は連邦に代って、移民の受入れ、居住又は訓練のために地域（本条で“移民センタース”と言う）を設定し維持するものとする。
- (2) 移民は、省長官の承認する条件の下に、かつ規定の料金を支払えば、移民センターに入所することを許されるものとする。
- (3) 移民センタースの酒保の設置と運営、移民センタース収容人員の行動と管理、移民センタースから追放する人員に関する規定を含む移民センタース規則に関連する規定は法規によって定められ

る。

- (4) 本条のいかなる規定も、コモンウェルス・ホステルス・リミテッドとして知られる会社の事業に関連し、又はその営業のためにする計画に影響を与えるものとみなされてはならない。

### 第 3 章 特殊の児童の出国

(見出し語は、*№* 16, 1973, s4 により取替)

#### 第 59 条 (定義)

(*№* 16, 1973, s5 により取替)

本章に於いて、“児童”は、17才以下の者を指す。

\* \* \* \* \*

(60条は、*№* 216, 1973, s3 により廃棄)

#### 第 61 条 (州法の維持)

(*№* 216, 1973, s3 により修正)

本章のいかなる規定も、州又は属領の下記に関する法の運用を妨げ、もしくは制限する目的あるものとして解釈されてはならない—

- (a) オーストラリアを出国、もしくはオーストラリアから連れ出される児童を阻止するために実施される手段；もしくは、
- (b) オーストラリアから児童を連れ出すことに関連して処罰される者。

#### 第 62 条 (特殊の児童のオーストラリア国外移出を禁止)

(1)項は、*№* 10, 1966, s11 により修正)

- (1)(a) 全体的にせよ部分的にせよ、児童の監護又は保護をする任務を与え、もしくはこれに接近することを命ずるオーストラリア法廷の命令(暫定的命令を含む)が、児童に関連して実施され

ている場合；又は、

- (b) オーストラリアの法廷に於いて、児童に関し自己に有利な命令を与えられることを目的に訴訟をおこし、その裁判が終結していない場合、

(本項(a)又は(b)段に引用した以外の)者で、裁判による命令を与えられた当事者、もしくはそれを望んでいる当事者、もしくはかかる当事者の一人に代り、又はその依頼を受けている者は、本項(a)又は(b)段に引用している者の書面より同意を得ないで、又は、法廷による命令が作られた時点又はその後、裁判開始の時、又はその後、その時の事情に応じ、州又は属領、又は連邦の法(本法以外の)の下で作られる法廷の命令に従わずに、その児童をオーストラリアから連れ出してはならず、又連れ出しを企ててはならない。

科料：1,000ドル又は禁固6ヶ月。

- (2) 本条の目的上、訴訟を取扱った法廷の判決に対して控訴が行われ、未決となっている場合、その訴訟は未審決とみなされる。
- (3) 本条(1)項は、その者が、その児童に対し監護、保護又は接近の権利をもつ者、もしくは権利を主張する者の一人であっても適用される。

#### 第63条 (船主等の義務)

( (1)項は、*Act 10, 1966, s11* により修正 )

- (1) 前条(1)項(a)又は(b)段に引用された者が、船の船長、船主、代理人又は備給者に対し、次項の規定に従って上述の命令、もしくは訴訟に関連するその者の制定法による宣言書を示しても、その船長、船主、代理人又は備給者は、その命令の効力継続中、もしくは訴訟が未審決の場合、その者が同伴し、又は、その者の同意書を得て、もしくは法廷による命令が作られた時点、もしくはそ

の後、宣言書に引用された裁判開始の時、又はその後、その時の事情に応じ、州又は属領の法、又は連邦の法に従って作られた命令に従う以外、正当な理由もなしに、その宣言書に引用された児童がオーストラリア外の行先きに向け、その船でオーストラリアの港又は地点を離れることを許してはならない。

料料：1,000ドル

- (2) 前項の目的のための制定法による宣言書は、それが行使される日の7日以内に作製し、関連する命令又は訴訟の明細を網羅するもので、次の事項を含む—
- (a) その児童の氏名及び生年月日；
  - (b) その命令が作られた訴訟当事者の氏名；
  - (c) 命令が未審決のまま作られた場合、その法廷名、訴訟の性質と開始の日、及び宣言書作製の時、その訴訟が未決である旨の説明；及び、
  - (d) その宣言書が命令に関係ある場合、その命令の条件。
- (3) 本条による宣言書の、船の船長、船主、代理人、又は傭船者に対する提示は、オーストラリア内にあるその者の主たる営業所に送達、もしくは書留でその者宛に郵送によって行われる。
- (4) 船の船長、船主、代理人、又は傭船者は、本条の下に生じたその者の義務を遂行する目的で善意で行ったことに対し、民事又は刑事のいかなる責任も負わないものとする。

## 第4章 雑

- 第65条 (官吏を妨害または欺く行為)  
(規則15, 16および19参照)

( 第 10, 1966, s11 により修正 )

本法または法規の下、もしくはその目的のために権限を行使、または任務を遂行する官吏を何人も妨害、欺きもしくは誤導してはならない。

科料：400ドルまたは禁固6ヶ月。

第 65 条 A ( 省長官によって承認された書式の身分証明票は引続き有効とみなされる )

( 第 10, 1966, s10 により挿入 )

省長官が、船の乗員に関連する身分証明票の書式を廃止する場合、その書式に従った身分証明票で、その廃止日から3ヶ月以内に船の船長によって署名されたものは、その廃止にも拘らず本法の目的上、省長官承認の書式による身分証明票として引続き有効とみなされる。

第 66 条 ( 起訴 )

本法第3章以外の、本法または法規に関する起訴は、権威ある官吏による外、行われぬものとする。

第 67 条 ( 法規 )

( 1. A., s16 参照 )

( (1)項は、第 87, 1964, s5 ; 第 10, 1966, s11 により修正 )

(1) 総督は、本法と矛盾せず、本法によって要求もしくは規定することが許され、もしくは本法の実施または効力発揮のため規定することが必要、または便利な、あらゆる事項を定める法規を設定することができる。特に――

(a) 本法または法規の目的のために発行される書類代の徴収；

(aa) 下記に関する情報を提供もしくは取得するための規定の設定――

(i) オーストラリア外の地点で始まる、もしくは途中寄港した、航海または航空のコースとして、又はその終着地として、オーストラリア内の港に到着した船に乗船していた者；および、

- (ii) オーストラリア外の地点に向い、または寄港するため、オーストラリア内の港を出航する船に乗船している者；
  - (b) 本法下の弁務官または所定の当局の前で行う訴訟に関連して行う証人の喚問、文書の提出、宣誓または証言による証人調べ、宣誓または証言の手續と証人費用の支払を含む、諸手續の制定；
  - (c) オーストラリアに入国、または残留を企てる者に関連し、所定の、または省長官が至当と認める条件の下で、扶養の保証を求め、かつかかる保証の実施をなし、又その保証が与えられる者の扶養その他の費用についてかかる債務の保証をする者から徴収をする；更に、
  - (d) 以上の法規に違反した場合、400ドルを超えない料料か、禁固6ヶ月の罰則を制定すること。
- (2) 前項(c)段に引用した法規は、本法によって廃棄された諸法の下で実施された法規に従い、本章の開始前に行われた保証についても適用する。

## 附 録

(4条) 廃棄された移民と国外追放に関する法律の表

移民制限法	1901
移民制限修正法	1905
移民制限法	1908
移民制限法	1910
移民法	1912
"	1920
"	1924

移 民 法 1925

" 1930

" 1932

" 1933

" 1935

" 1940

" 1948

" 1949

パシフィック・アイランド労働者法 1901

パシフィック・アイランド労働者法 1906

外国人国外追放法 1948

備 考

1. 移民法 1958-1973 は、下表に掲げた諸法によって修正された移民法 1958 からなる：

移民法 1958-1973

法	番号と年	成立日	開始時期
移民法 1958	№ 62, 1958	1958. 10. 8	第 1, 2 と 4 章, 1959. 6. 1. (官報 1959, 1831 頁参照) 第 3 章, 1958. 11. 10 (官報 1958, 3857 頁参照)
移民法 1964	№ 87, 1964	1964. 11. 5	1964. 11. 5
移民法 1966	№ 10, 1966	1966. 5. 6	1966. 5. 6
移民法 1973	№ 16, 1973	1973. 4. 11	1973. 4. 11
制定法改正法 1973	№ 216, 1973	1973. 12. 19	1973. 12. 31

2. S. 5 (1)-現在, オーストラリア国籍法 1948-1973 として引用。



3. 第2章 — オーストラリア国籍法 1948-1973, 25(7)項により, 本章の開始後オーストラリアに入国した者で本法の解釈により禁止移民となる者は, 同項の下でオーストラリア国籍を得ることができない。
4. S.6 — 連邦選挙法 1918-1973, 39条は, 本項下の禁止移民, 又は本項下の臨時入国許可書の所持者が選挙人となることを同法の下で禁じている。
5. S.16 (1) 移民制限法 1901の開始日は, 1901年12月23日。
6. S.40 (3) 本項の通告については, 官報 1959, 2133頁及び官報1972, 42, 5頁参照。

# MIGRATION ACT 1958-1973

An Act relating to Immigration, Deportation and Emigration.

## PART I—PRELIMINARY

1. This Act may be cited as the *Migration Act 1958-1973*.<sup>1</sup>

Short title.  
Short title  
amended:  
No. 32, 1973,  
s. 2.

2. The several Parts of this Act shall come into operation on such dates as are respectively fixed by Proclamation.<sup>1</sup>

Commence-  
ment.

\* \* \* \* \*

Section 3  
repealed by  
No. 216, 1973,  
s. 3.

4. (1) The Acts specified in the Schedule to this Act are repealed.

Repeal and  
savings.

(2) Section nine of the *War Precautions Act Repeal Act 1920-1955* and the heading to that section, and the Schedule to that Act, are repealed.

(3) The *War Precautions Act Repeal Act 1920-1955*, as amended by this section, may be cited as the *War Precautions Act Repeal Act 1920-1958*.

(4) Notwithstanding the repeals effected by this section—

Amended by  
No. 216, 1973,  
s. 3.

(a) a certificate of exemption in force under the *Immigration Act 1901-1949* immediately before the date of commencement of this Part shall, for all purposes of this Act, be deemed to be a temporary entry permit granted under this Act to the person specified in the certificate and authorizing that person to remain in Australia for a period ending on the date on which the certificate would have expired if this Act had not been passed.

\* \* \* \* \*

(5) For the purposes of paragraph (a) of the last preceding subsection, where, before the commencement of this Part, an immigrant who had previously entered Australia re-entered Australia and, upon or after the re-entry, a certificate of exemption purported to be issued to him, the certificate shall be deemed to have been as validly issued as if he had not previously entered Australia.

Interpretation.  
Sub-section (1)  
amended by  
No. 10, 1956,  
s. 3; and  
No. 216, 1973,  
s. 3.

5. (1) In this Act, unless the contrary intention appears—

“alien” means a person who is not—

- (a) a British subject;
- (b) an Irish citizen; or
- (c) a protected person;

“authorized officer”, in relation to the exercise of any power or the discharge of any duty or function under this Act, means an officer authorized by the Minister to exercise that power or discharge that duty or function;

“crime” includes any offence;

“deportation” means deportation from Australia;

“deportation order” means an order for the deportation of a person made under, or continued in force by, this Act;

“deportee” means a person in respect of whom a deportation order is in force;

“enter” includes re-enter;

“entered” includes re-entered;

“entry” includes re-entry;

“entry permit” means a permit issued under section six of this Act;

“identity document”, in relation to a member of the crew of a vessel, means—

- (a) an identification card, in accordance with a form approved by the Minister, in respect of the member signed by the master of the vessel; or
- (b) a document, of a kind approved by the Minister as an identity document for the purposes of this Act, in respect of the member;

“immigrant” includes a person intending to enter, or who has entered, Australia for a temporary stay only, where he would be an immigrant if he intended to enter, or had entered, Australia for the purpose of staying permanently;

“master”, in relation to a vessel, means the person in charge or command of the vessel;

“member of the crew” means—

- (a) in relation to a vessel other than an aircraft—the master of the vessel, or a person whose name is on the articles of the vessel as a member of the crew; or
- (b) in relation to an aircraft—the master of the aircraft, or a person employed by the operator of the aircraft and whose name is included in a list of members of the crew of the aircraft furnished by the master as prescribed;

“officer” means an officer of the Department of Immigration; a person who is an officer for the purposes of the *Customs Act*

1901-1957 or a member of the Police Force of the Commonwealth or of a State or Territory;

"passport" includes a document of identity issued from official sources, whether in or outside Australia, and having the characteristics of a passport;

"port" means a proclaimed port or a proclaimed airport;

"proclaimed airport" means an airport appointed by a Proclamation in force under section fifteen of the *Customs Act* 1901-1957;

"proclaimed port" means a port established by a Proclamation in force under section fifteen of the *Customs Act* 1901-1957 or a port that is continued under section eighteen of that Act as if established under that Act;

"protected person" has the same meaning as in the *Nationality and Citizenship Act* 1948-1958;

"stowaway" means a person who is or was on board a vessel at the time of the arrival of the vessel from a place outside Australia at a port or place in Australia and is not or was not—

(a) a *bona fide* passenger on the vessel; or

(b) a member of the crew of the vessel;

"temporary entry permit" means an entry permit referred to in subsection (6) of section six of this Act;

"Territory" means a Territory being part of the Commonwealth;

"the holder", in relation to an entry permit, means the person to whom the entry permit was granted or a person who is deemed to be included in the entry permit;

"vessel" includes an aircraft.

(2) For the purposes of this Act, a person shall be deemed to enter Australia—

(a) in the case of a person arriving in Australia by a vessel other than an aircraft—when he disembarks from the vessel in Australia; or

(b) in the case of a person arriving in Australia by an aircraft—when he disembarks from the aircraft in Australia or, if he so disembarks at a proclaimed airport, when he leaves the airport,

whether or not he intends to return to the vessel or aircraft.

(3) For the purposes of this Act, a person shall be deemed to have left Australia if he has gone outside the territorial limits of Australia.

(4) For the purposes of this Act, a person shall not be deemed to have entered or re-entered Australia, or to enter or re-enter Australia, where, having left Australia—

(a) he returned or returns to Australia, within the prescribed time after the date on which he left Australia, in the vessel in which he left Australia after having remained, at all times during his

Amended by  
No. 216, 1933,  
s. 3.

absence from Australia, a passenger in, or a member of the crew of, that vessel; or

- (b) he returned or returns to Australia without having entered any country other than a Territory outside Australia,

unless he was, at the time when he left Australia, a person whose deportation had been ordered.

(5) In the last preceding sub-section, "the prescribed time", in relation to a person, means—

- (a) thirty days; or

- (b) where, at the time when that person left Australia, there was in force an instrument under the hand of an authorized officer approving a longer time as the prescribed time in the case of that person or a class of persons in which that person was included— that longer time.

## PART II—IMMIGRATION AND DEPORTATION<sup>1</sup>

### *Division 1—Entry Permits*

Immigrant  
not to enter  
Australia  
without  
entry permit.  
Cf. I.A., s. 3 (1)  
(a)

6.<sup>4</sup> (1) An immigrant who, not being the holder of an entry permit that is in force, enters Australia thereupon becomes a prohibited immigrant.

(2) An officer may, in accordance with this section and at the request or with the consent of an immigrant, grant to the immigrant an entry permit.

(3) An entry permit shall be in a form approved by the Minister and shall be expressed to permit the person to whom it is granted to enter Australia or to remain in Australia or both.

(4) For the purposes of the last preceding sub-section, where a notation in a form approved by the Minister as a form of entry permit is made by an officer in a passport or other document of identity held by a person and the notation does not specify the name of any person as the person to whom it relates, the notation has effect as if it were expressed to relate to the person holding the passport or other document.

(5) An entry permit may be granted to an immigrant before he enters Australia or after he has entered Australia (whether before or after the commencement of this Part).

(6) An entry permit that is intended to operate as a temporary entry permit shall be expressed to authorize the person to whom it relates to remain in Australia for a specified period only, and such a permit may be granted subject to conditions.

(7) A woman who enters Australia in the company of, and whose name is included in the passport of, or any other document of identity of,

her husband shall be deemed to be included in any entry permit granted to her husband before his entry and written on that passport or other document of identity, unless the contrary is stated in the entry permit.

(8) A child under the age of sixteen years who enters Australia in the company of, and whose name is included in the passport of, or any other document of identity of, a parent of the child shall be deemed to be included in any entry permit granted to that parent before the entry of that parent and written on that passport or other document of identity, unless the contrary is stated in the entry permit.

7. (1) The Minister may, in his absolute discretion, cancel a temporary entry permit at any time by writing under his hand.

Cancellation,  
expiration  
and renewal  
of temporary  
entry  
permits.  
Cf. I.A., s. 4.

(2) At any time while a temporary entry permit is in force or after the expiration or cancellation of a temporary entry permit, a further entry permit may, at the request of the holder, be granted to the holder and, where such a further entry permit is granted while a temporary entry permit is in force, the further entry permit shall come into force only upon the expiration or cancellation of the existing entry permit.

(3) Upon the expiration or cancellation of a temporary entry permit, the person who was the holder of the permit becomes a prohibited immigrant unless a further entry permit applicable to him comes into force upon that expiration or cancellation.

(4) Notwithstanding section ten of this Act, a person who has become a prohibited immigrant by virtue of the last preceding sub-section ceases to be a prohibited immigrant at the expiration of a period of five years from the time at which he became a prohibited immigrant unless, at the expiration of that period, a deportation order in relation to him is in force.

(5) An authorized officer may require a person who is a prohibited immigrant by virtue of sub-section (3) of this section to leave Australia within the time specified by the authorized officer, and that person shall comply with the requirement.

Amended by  
No. 10, 1966,  
s. 11.

Penalty for any contravention of this sub-section: Four hundred dollars or imprisonment for three months.

8. (1) Nothing in this Division applies in relation to the entry into Australia of an immigrant being—

Exemptions.  
Cf. I.A., s. 3(1)  
(i), (j), (k), (l).  
Sub-section (1)  
amended by  
No. 87, 1964,  
s. 3; and No. 10,  
1966, s. 4.

(a) a member of the armed forces of the Crown entering Australia in the course of his duty;

(b) a diplomatic or consular representative or official trade commissioner of a country other than Australia, or a member of the staff of such a representative or commissioner who has been sent to Australia by the government of that country, or the wife or dependent relative of such a representative, commissioner or member;

- (c) a person included in the complement of a vessel of the regular armed forces of a government recognized by the Commonwealth entering Australia with leave from that vessel during the vessel's stay in a port, not being a person in respect of whom a declaration is in force under the next succeeding sub-section;
- (d) a member of the crew of any other vessel entering Australia with leave from that vessel during the vessel's stay in a port, where the master of the vessel has duly complied with the provisions of Division 3 of this Part that are applicable upon arrival of the vessel at that port, not being a person in respect of whom a declaration is in force under the next succeeding sub-section; or
- (e) a person who—
  - (i) is for the time being exempted, by instrument under the hand of the Minister, from the requirements of this Division relating to entry permits; or
  - (ii) is included in a class of persons who are for the time being so exempted,
 not being a person in respect of whom a declaration is in force under the next succeeding sub-section.

Amended by  
No. 87, 1964,  
s. 3.

(2) The Minister or an authorized officer may, by writing under his hand, declare, in relation to a person referred to in paragraph (c) or (d), or a person included in a class of persons exempted under paragraph (e), of the last preceding sub-section, that it is undesirable that he be permitted to enter Australia or to remain in Australia.

Amended by  
No. 87, 1964,  
s. 3.

(3) Where a person to whom sub-section (1) of this section applies has entered Australia and an entry permit has not been granted to that person since that entry, that person becomes a prohibited immigrant—

- (a) in the case of a person referred to in paragraph (a) of that sub-section, not being a member of the Australian armed forces—if he becomes absent without leave or ceases to be a member of the armed forces of the Crown;
- (b) in the case of a person referred to in paragraph (b) of that sub-section—if he ceases to be such a person;
- (c) in the case of a person referred to in paragraph (c) or (d) of that sub-section—
  - (i) if he remains in Australia after the vessel has left the port at which he entered, or last entered, Australia; or
  - (ii) if, before the vessel has so left, he becomes absent without leave or a declaration in relation to him is made under the last preceding sub-section; or
- (d) in the case of a person referred to in paragraph (e) of that sub-section—if he ceases to be such a person, whether by his own act, by act of the Minister or otherwise.

9. (1) Where an immigrant who is the holder of an entry permit leaves Australia, the entry permit has no force or effect in relation to him upon or after his re-entry into Australia.

Sub-section (4) omitted by No. 10, 1966, s. 4.

Entry permit to lapse upon departure from Australia.

(2) The last preceding sub-section does not apply in relation to a temporary entry permit upon or after a re-entry of the holder into Australia after having left Australia if—

- (a) within six months before that re-entry, an authorized officer made a notation on the entry permit to the effect that the permit would not be invalidated by absence of the holder from Australia; and
- (b) at the time of the re-entry, the entry permit has not, or had not, expired or been cancelled.

10. A person who has become a prohibited immigrant ceases to be a prohibited immigrant if and when an entry permit or further entry permit is granted to him, and not otherwise.

Person to cease to be prohibited immigrant if granted entry permit.

11. A visa or similar notation or a form of provisional authority to enter Australia issued to a person on behalf of the Commonwealth shall not be deemed to be an entry permit and does not entitle that person to enter Australia or to be granted an entry permit.

Visas, &c., not to entitle persons to enter Australia.

#### *Division 2—Deportation*

12. Where (whether before or after the commencement of this Part) an alien has been convicted in Australia of a crime of violence against the person or of extorting any money or thing by force or threat, or of an attempt to commit such a crime, or has been convicted in Australia of any other offence for which he has been sentenced to imprisonment for one year or longer, the Minister may, upon the expiration of, or during, any term of imprisonment served or being served by that alien in respect of the crime, order the deportation of that alien.

Aliens convicted of crimes.  
CF. I.A., s. 2.

13. Subject to section fifteen of this Act, where (whether before or after the commencement of this Part) an immigrant—

- (a) has been convicted in Australia of an offence punishable by death or by imprisonment for one year or longer, being an offence committed within five years after any entry by him into Australia;
- (b) has been convicted in Australia of an offence by reason of being a prostitute or of having lived on, or received any part of, the earnings of prostitution or of having procured persons for the purposes of prostitution, being an offence committed within five years after any entry by the immigrant into Australia; or

Deportation of immigrants in respect of matters occurring within five years after entry.  
CF. I.A., s. 6a (a), (b), (c).



(c) is, within five years after any entry by him into Australia, an inmate of a mental hospital or public charitable institution,

the Minister may order the deportation of the immigrant from Australia.

Certain persons may be deported after report by Commissioner.

Cf. *Aliens Deportation Act 1948*, s. 5.

14. (1) If it appears to the Minister that the conduct of an alien (whether in Australia or elsewhere) has been such that he should not be allowed to remain in Australia, the Minister may, subject to this section, order the deportation of that alien.

(2) Subject to the next succeeding section, if it appears to the Minister that, in the case of an immigrant who entered Australia (whether before or after the commencement of this Part) not more than five years previously—

Cf. I.A., s. 5(2).

(a) his conduct (whether in Australia or elsewhere) has been such that he should not be allowed to remain in Australia; or

Cf. I.A., s. 8a(d).

(b) he is a person who advocates the overthrow by force or violence of the established government of the Commonwealth or of a State or of any other civilized country or of all forms of law, or advocates the abolition of organized government or the assassination of public officials, or advocates or teaches the unlawful destruction of property, or is a member of an organization which entertains and teaches any of the doctrines and practices specified in this paragraph,

the Minister may, subject to this section, order the deportation of that immigrant.

(3) The Minister shall not order the deportation of a person under this section unless he has first served on that person a notice informing that person that he proposes to order the deportation of that person, on the ground specified in the notice, unless that person requests, by notice in writing to the Minister, within thirty days after receipt by him of the Minister's notice, that his case be considered by a Commissioner appointed for the purposes of this section.

(4) If a person on whom a notice is served by the Minister under the last preceding sub-section duly requests, in accordance with the notice, that his case be considered by a Commissioner appointed for the purposes of this section, the Minister may, by notice in writing, summon that person to appear before a Commissioner specified in the notice at the time and place specified in the notice.

(5) A Commissioner for the purposes of this section shall be appointed by the Governor-General and shall be a person who is or has been a Judge of a Federal Court or of the Supreme Court of a State or Territory, or a barrister or solicitor of the High Court or of the Supreme Court of a State or Territory of not less than five years' standing.

(6) The Commissioner shall, after investigation in accordance with the next succeeding sub-section, report to the Minister whether he considers that the ground specified in the notice under sub-section (3) of this section has been established.

(7) The Commissioner shall make a thorough investigation of the matter with respect to which he is required to report, without regard to legal forms, and shall not be bound by any rules of evidence but may inform himself on any relevant matter in such manner as he thinks fit.

(8) Where a notice has been served on a person under sub-section (3) of this section, the Minister shall not order the deportation of that person under this section unless—

- (a) that person does not request, in accordance with the notice, that his case be considered by a Commissioner;
- (b) that person, having been summoned under this section to appear before a Commissioner, fails so to appear at the time and place specified in the summons; or
- (c) a Commissioner reports under this section in relation to that person that he considers that the ground specified in the notice has been established.

15. For the purposes of the last two preceding sections, where an immigrant who has lived in Australia continuously for a period of two years or more has thereafter left Australia, a re-entry of that immigrant into Australia (whether before or after the commencement of this Part) after he has so left Australia shall not be deemed to be or to have been an entry of that immigrant into Australia unless—

Re-entry not to be entry in certain cases.

- (a) he had, at the time of the re-entry, been absent from Australia for a period exceeding five years; or
- (b) he was, at the time of leaving Australia—
  - (i) the holder of a temporary entry permit;
  - (ii) a person in respect of whom there was in force a certificate of exemption issued under the *Immigration Restriction Act 1901* or that Act as amended at any time;
  - (iii) a prohibited immigrant by virtue of this Act or any of the Acts repealed by this Act; or
  - (iv) a person whose deportation had been ordered.

16. (1) Where, after the commencement of this Part or before the commencement of this Part but after the commencement of the *Immigration Restriction Act 1901*, a person who enters or entered Australia as an immigrant—

Persons entering Australia in certain circumstances to be prohibited immigrants.

- (a) evades or evaded an officer for the purpose of entering Australia;

Cl. 1A, s. 5(1).

- cc. 1A, s. 3 (1) (b) for the purpose of securing entry into Australia, produces or produced to an officer a permit, certificate, passport, visa, identification card or other document which was not issued to him or is or was forged or was obtained by false representations; or
- cc. 1A, s. 3 (c) at the time of entry is or was a person of any of the following descriptions, namely:—

  - (i) a person suffering from a prescribed disease;
  - (ii) a person who has been convicted of a crime and sentenced to imprisonment for one year or more; or
  - (iii) a person who has been deported from Australia or any other country,

that person shall, notwithstanding section ten of this Act, be deemed to be a prohibited immigrant unless he is the holder of an entry permit endorsed with a statement that the officer granting that permit recognizes him to be a person referred to in this sub-section.

(2) For the purpose of the making of a deportation order against a person on the ground that he is a prohibited immigrant by virtue of this section, the reference in this section to a prescribed disease shall be read as a reference to a disease, or a physical or mental disability or defect, that is prescribed for the purposes of this section by the regulations as in force at the time when the deportation order is made.

(3) In this section, "officer" includes a person who was an officer for the purposes of the *Immigration Restriction Act 1901*, or that Act as amended at any time.

(4) For the purposes of this section—

(a) a person who—

- (i) while he was a member of the crew of, or a person included in the complement of, a vessel, entered Australia before the commencement of this Part; and
- (ii) at the time of entering Australia, or at any time thereafter, deserted or deserts the vessel or became or becomes absent without leave; or

(b) a person who enters or has entered Australia (whether before or after the commencement of this Part) at a place where no officer (other than a member of a Police Force) is or was stationed, shall be deemed to have evaded or to evade an officer for the purpose of entering Australia.

Sub-section (5)  
omitted by  
No. 10, 1966,  
s. 5.

Section 17  
repealed by  
No. 216, 1973,  
s. 2.

18. The Minister may order the deportation of a person who is a prohibited immigrant under any provision of this Act.

Deportation of prohibited immigrants.  
Cf. I.A., ss. 4, 5(6) and 7.

19. Where the Minister makes or has made an order for the deportation of a person, the Minister may, in his discretion, at the request of the wife of that person, order the deportation of the wife, or of the wife and a dependent child or children, of that person.

Dependants of deportee.  
Cf. I.A., s. 8A.

20. Where the Minister has made an order for the deportation of a person, that person shall, unless the Minister revokes the order, be deported accordingly.

Deportation order to be executed.  
Cf. I.A., s. 8c.

21. (1) Where the Minister has ordered the deportation of a person by virtue of, or by reference to, sub-section (1) of section six, paragraph (c) of sub-section (3) of section eight, or paragraph (a) of sub-section (1) of section sixteen, of this Act, an authorized officer may, by notice in writing, require the master, owner, agent or charterer of the vessel in which the deportee arrived in Australia to remove him from Australia without charge to the Commonwealth.

Duty of master, &c., of vessel which brought deportee to Australia to provide passage.  
Cf. I.A., s. 13A (1).

(2) An authorized officer may make a requirement under the last preceding sub-section in respect of a deportee notwithstanding that such a requirement has previously been made by that authorized officer or another authorized officer in respect of that deportee, if the time for compliance with the previous requirement has expired and the deportee is still in Australia.

(3) Subject to sub-section (6) of this section, where the Minister has ordered the deportation of a person by virtue of, or by reference to, section thirteen or paragraph (b) or (c) of sub-section (1) of section sixteen, of this Act, an authorized officer may, by notice in writing, require the master, owner, agent or charterer of the vessel in which the deportee arrived in Australia to provide, without charge to the Commonwealth, a passage for the deportee to the place at which he boarded the vessel when he came to Australia.

Amended by No. 216, 1973, s. 3.

(4) A person on whom a requirement has been made under sub-section (1) or (3) of this section shall comply with the requirement within thirty days after receipt of the requirement or within such further time as the Minister allows, whether or not the deportee is able or willing to pay, or agrees to pay, a charge in respect of his passage.

Amended by No. 10, 1966, s. 11; and No. 216, 1973, s. 3.

Penalty: One thousand dollars.

(5) It is a defence to a prosecution in respect of a failure to comply with a requirement under sub-section (1) of this section if the defendant proves that, after the date of the requirement, he gave reasonable notice to an authorized officer of his willingness to receive the deportee on board a specified vessel at a specified port on a specified date for removal from Australia and the deportee was not made available at that

port on that date in the custody of an officer for placing on board that vessel.

(6) Where sub-section (3) of this section applies in relation to a deportee but the Minister is satisfied that the deportee will not or may not be permitted to re-enter the place referred to in that sub-section, the Minister shall exempt the persons on whom a requirement under that sub-section has been or could be made from liability under the preceding provisions of this section in respect of the deportee if arrangements to the satisfaction of the Minister are made by all or any of those persons for payment to the Commonwealth of such sum as the Minister thinks reasonable in the circumstances in respect of the cost, or part of the cost, of a passage for the deportee to some other place outside Australia.

(7) Where a deportee in respect of whom a requirement has been made under this section is being maintained at the expense of the Commonwealth or of a State, the person on whom the requirement has been made is liable to pay to the Commonwealth a fair sum in respect of the cost of maintaining the deportee from the date on which the requirement was made until the deportee is placed on board the vessel or until an exemption is granted to that person under the last preceding sub-section and, where any such sum is received by the Commonwealth in respect of the maintenance of a deportee at the expense of a State, the Commonwealth shall pay an amount equal to that sum to the State.

(8) The master, owner, agent or charterer of a vessel shall not be required, under this section, to remove a deportee from Australia or to provide a passage for a deportee if--

- (a) the passage money paid in respect of the conveyance of the deportee to Australia was paid, in whole or in part, by or on behalf of the Commonwealth;
- (b) the deportee, when he came to Australia, was the holder of a passport endorsed by a person acting under the authority of the Commonwealth with a migrant's visa;
- (c) the deportee, being a woman, was, when she came to Australia, the wife of, and in the company of, the holder of a passport so endorsed in which she was named as the wife of the holder; or
- (d) the deportee, when he came to Australia, was under the age of twenty-one years and was in the company of the holder of a passport so endorsed in which he was named as a child of the holder.

(9) In this section, a reference to the owner or charterer of the vessel in which a deportee arrived in Australia shall be read as a reference to the person who was the owner or charterer of the vessel at the time when that deportee arrived in Australia (whether or not he continues to be the owner or charterer of the vessel), and a reference to the agent of such a vessel shall be read as a reference to the present agent of the person who,

in accordance with the foregoing provisions of this sub-section, is referred to as the owner or charterer of the vessel.

(10) In this section, a reference to the master of the vessel in which a deportee arrived in Australia shall, in relation to the making of a requirement on the master under this section, be read as a reference to the person who is the master of the vessel at the time when the requirement is made, but no such requirement shall be made on the master unless, at that time, the vessel is still owned or chartered by the person who was the owner or charterer of the vessel at the time when the deportee arrived in Australia.

22. (1) The master, owner, agent or charterer of a vessel shall, on being required in writing by an authorized officer so to do, receive a deportee on board for conveyance to a place specified in the requirement, being a place to which the vessel is bound, and also receive on board, for such time as is required by the authorized officer, a person charged with the custody of the deportee.

Penalty: Four hundred dollars.

(2) For the services specified in the last preceding sub-section, the Commonwealth is liable to pay such reasonable passage money and other charges as are demanded.

(3) An officer shall not make a requirement under sub-section (1) of this section unless he is satisfied on reasonable grounds that the deportee will be permitted to land at the place specified in the requirement, and it is a defence to a prosecution for a contravention of that sub-section if the defendant proves that, if the requirement had been complied with, the deportee would not have been permitted to land at the place specified in the requirement.

### *Division 3—Duties of Masters in relation to Crews*

23. The master of a vessel, other than a vessel of the regular armed forces of a government recognized by the Commonwealth, which has entered Australia from overseas—

- (a) shall, upon the arrival of the vessel at a port, have in his possession an identity document in respect of each member of the crew who is on board the vessel;
- (b) shall, upon the arrival of the vessel at a port, if so required by an officer, produce to the officer the identity documents referred to in the last preceding paragraph;
- (c) shall, before the departure of the vessel from a port, if so required by an officer, muster the crew in the presence of the officer and produce to the officer the identity documents referred to in paragraph (a) of this section; and

Deportees to be received on board vessels.

CF. I.A., ss. 4 (6) and 13A (2) and *Aliens Deportation Act* 1948, s. 6.  
Sub-section (1) amended by No. 10, 1966, s. 11.

Production of identity documents and mustering of crew.

CF. I.A., s. 3 (1) (k), second proviso and reg. 36.  
Amended by No. 10, 1966, ss. 6 and 11.

(d) shall not, where a requirement has been made on him in accordance with the last preceding paragraph, depart with the vessel from the port unless the requirement has been complied with.

Penalty: Two hundred dollars.

Master to report absences. Substituted by No. 10, 1966, s. 7.

24. Where a member of the crew of a vessel, other than a vessel of the regular armed forces of a government recognized by the Commonwealth, that has entered Australia from overseas was on board the vessel at the time of its arrival at a port and is absent from the vessel at the time of its departure from the port, the master of the vessel shall, at that departure—

- (a) deliver to an officer a report in writing specifying the name of the member, stating that the member was a member of the crew of the vessel on board the vessel at the time of its arrival at that port and is absent from the vessel at the time of its departure from that port and further stating whether that member left the vessel at that port with leave or without leave; and
- (b) on demand by an officer, deliver to the officer the identity document in respect of that member.

Penalty: Two hundred dollars.

Section 25 repealed by No. 216, 1973, s. 3.

Exemptions.

26. (1) Where the Minister is satisfied that it is no longer necessary for the purposes of this Act that a provision of this Division should continue to apply in relation to a vessel, he shall, by writing under his hand, exempt the master of that vessel from liability to comply with that provision.

(2) An authorized officer may, by writing under his hand, exempt the master of a vessel in whole or in part from liability to comply with any of the provisions of section twenty-three of this Act.

#### *Division 4—Offences in relation to Entry*

Irregular entry. Cf. I.A., s. 1.

27. (1) An immigrant who—

- (a) enters Australia in such circumstances that he becomes a prohibited immigrant by virtue of section six of this Act;
- (b) becomes a prohibited immigrant by reason of being a person to whom paragraph (a) or (c) of sub-section (3) of section eight of this Act applies; or
- (c) enters Australia after having produced to an officer, for the purpose of securing entry into Australia, a permit, certificate, passport, visa, identification card or other document which was not issued to him or was forged or was obtained by false representations,

shall be deemed to be guilty of an offence against this Act punishable upon conviction by imprisonment for a period not exceeding six months.

(2) A deportee who has been placed on board a vessel for deportation shall not leave the vessel in Australia otherwise than in custody under this Act.

Penalty: Imprisonment for six months.

(3) The conviction of a person under this section does not prevent the making of an order for the deportation of that person or the further execution of a deportation order, as the case may be, and any imprisonment in respect of such a conviction shall cease for the purpose of deportation.

(4) Where a person is convicted of an offence under this section and appeals against his conviction, he shall not be released on bail unless he finds two sureties, each in the sum of One thousand dollars and each approved by an authorized officer, for his appearance at the hearing of the appeal.

Amended by  
No. 10, 1966,  
s. 11.

28. Where—

- (a) a person enters Australia from a vessel and, by reason of his not being the holder of an entry permit, that person becomes, upon entry, a prohibited immigrant;
- (b) a member of the crew of a vessel referred to in paragraph (d) of sub-section (1) of section eight of this Act becomes a prohibited immigrant by reason of the operation of paragraph (c) of sub-section (3) of that section; or
- (c) a deportee who has been placed on board a vessel for deportation leaves the vessel in Australia otherwise than in custody under this Act,

Penalty on  
master,  
owner, agent  
and  
charterer of  
vessel.

Cf. I.A. s. 9.  
Amended by  
No. 10, 1966,  
s. 11.

the master, owner, agent and charterer of the vessel shall each be deemed to be guilty of an offence against this Act punishable by a fine not exceeding One thousand dollars.

29. (1) If a vessel having on board one or more stowaways comes into a port or place in Australia, the master, owner, agent and charterer of the vessel shall each be deemed to be guilty of an offence against this Act punishable by a fine not exceeding One thousand dollars for each stowaway.

Stowaways.  
Cf. I.A. s. 9a.  
Sub-section (1)  
Amended by  
No. 10, 1966,  
s. 11.

(2) If the master of the vessel has, within one year preceding his conviction for an offence against the last preceding sub-section, been convicted of a previous offence against that sub-section, the penalty for the first-mentioned offence shall be a fine not exceeding Two thousand dollars for each stowaway.

Amended by  
No. 10, 1966,  
s. 11.

(3) Sub-section (1) of this section does not apply in relation to a stowaway if the master of the vessel, forthwith after the arrival of the vessel at the port or place, gives notice to an officer that the stowaway is



on board and prevents the stowaway from landing before an officer has had an opportunity of interrogating him.

Persons concerned in bringing immigrants secretly into Commonwealth or harbouring prohibited immigrants.  
Cf. I.A., s. 12A

30. (1) A person shall not take any part in—

- (a) the bringing or coming to Australia of an immigrant under circumstances from which it might reasonably have been inferred that the immigrant intended to enter Australia secretly or without the knowledge of an officer;
- (b) the concealing of an immigrant with intent to enable him to enter Australia secretly or without the knowledge of an officer; or
- (c) the concealing of a prohibited immigrant or a deportee with intent to prevent his discovery by an officer.

Amended by No. 10, 1966, s. 11.

(2) A person shall not—

- (a) aid or incite a person to enter or remain in Australia in circumstances in which he would become a prohibited immigrant; or
- (b) knowingly harbour a prohibited immigrant or a deportee.

Penalty: Four hundred dollars or imprisonment for six months.

False papers, &c.  
Cf. I.A., s. 12a and regs. 17 and 18.

31. (1) A person shall not, in connexion with the entry, or proposed entry, of an immigrant (including that person himself) into Australia—

- (a) present to an officer a document which is forged or false;
- (b) falsely represent to an officer that he or another person is the person named in a document;
- (c) produce a document to an officer with intent to deceive or mislead him; or
- (d) deliver to an officer, or otherwise furnish for official purposes of the Commonwealth, a document containing a statement or information that is false or misleading in a material particular.

Amended by No. 10, 1966, s. 11.

(2) A person shall not transfer or part with possession of a document with intent that the document be used to assist a person, being a person not entitled to use it, to gain entry to, or to remain in, Australia or where he has reason to suspect that the document may be so used.

Penalty: Four hundred dollars or imprisonment for six months.

#### *Division 5—Examination, Search and Detention*

Appointment of boarding stations.  
Cf. Customs Act 1901-1957, s. 15.

32. (1) The Governor-General may, by Proclamation, appoint a place in a port to be the boarding station for that port for the purposes of this Act.

(2) Where a boarding station for a port is for the time being appointed or continued under the *Customs Act 1901-1957*, that boarding station shall be deemed to be appointed under this section as the boarding station for that port for the purposes of this Act.

33. (1) The master of a vessel which has entered Australia from overseas shall not suffer his vessel to enter any place other than a port unless from stress of weather or other reasonable cause.

Penalty: One thousand dollars.

Vessels to enter ports and be brought to boarding stations.

*Cf. Customs Act 1901-1957, s. 52.*  
Sub-section (1) amended by No. 10, 1966, s. 11.

(2) The master of a ship from overseas bound to or calling at a port—

(a) shall, if so required by an authorized officer, bring his ship to for boarding under this Act at the boarding station appointed for that port; and

(b) shall not move his ship from that boarding station, except for the purpose of leaving that port, until permitted to do so by an authorized officer.

Penalty: One thousand dollars.

*Cf. Customs Act 1901-1957, s. 60.*  
Amended by No. 10, 1966, s. 11.

(3) The master of an aircraft from overseas arriving in Australia shall not suffer the aircraft to land at any other proclaimed airport until the aircraft has first landed—

(a) at such proclaimed airport for which a boarding station is appointed as is nearest to the place at which the aircraft entered Australia; or

(b) at such other airport for which a boarding station is appointed as has been approved by an authorized officer, in writing, as an airport at which that aircraft, or a class of aircraft in which that aircraft is included, may land on arriving in Australia from overseas.

Penalty: One thousand dollars.

Amended by No. 10, 1966, s. 11.

(4) The master of an aircraft which is engaged on an air service or flight from a place overseas to a place in Australia—

(a) shall not suffer the aircraft to land at a proclaimed airport for which a boarding station is not appointed;

(b) shall, as soon as practicable after the aircraft lands at a proclaimed airport, bring the aircraft for boarding to the boarding station appointed for that airport; and

(c) shall not move his aircraft from that boarding station until permitted to do so by an authorized officer.

Penalty: One thousand dollars.

Amended by No. 10, 1966, s. 11.

(5) It is a defence to a prosecution for an offence against a provision of either of the last two preceding sub-sections if the person charged proves that he was prevented from complying with the provision by stress of weather or other reasonable cause.

(6) While a vessel is at a boarding station, an officer may go and remain on board the vessel for the purposes of this Act.

Amended by  
No. 10, 1966,  
s. 11.

(7) The master of a vessel shall do all things reasonably required by an officer to facilitate the boarding of the vessel under this section and the performance by the officer of duties for the purposes of this Act.

Penalty for any contravention of this sub-section: Four hundred dollars.

Exemption.

34. Where the Minister is satisfied that it is no longer necessary for the purposes of this Act that a provision of the last preceding section should continue to apply in relation to a vessel, he shall, by writing under his hand, exempt the master of that vessel from liability to comply with that provision.

Prohibited  
immigrants,  
&c., may be  
prevented  
from  
landing.  
Cf. 1A, ss. 13a  
and 14.

35. (1) An officer may—

(a) prevent a person from entering Australia where that person would, if he so entered, be a prohibited immigrant; or

(b) prevent a deportee from leaving a vessel on which he has been placed,

and may take such action and use such force as are necessary for that purpose.

(2) The master of a vessel may, in relation to persons on board the vessel, do all things which an officer is, under the last preceding sub-section, authorized to do.

Custody of  
prohibited  
immigrant  
during stay  
of vessel in  
port.  
Cf. 1A, s. 13c  
and reg. 7.

36. (1) A person who is on board a vessel at the time of the arrival of the vessel at a port, whether or not that port is the first port of call of the vessel in Australia, being a stowaway or a person whom an authorized officer reasonably believes to be seeking to enter Australia in circumstances in which he would become a prohibited immigrant (in this section referred to as "the prohibited immigrant"), may—

(a) if an authorized officer so directs; or

(b) if the master of the vessel so requests and an authorized officer approves,

be taken ashore by an officer and kept in such custody as an authorized officer directs until the departure of the vessel from its last port of call in Australia or until such earlier time as an authorized officer directs.

(2) A person in custody under the last preceding sub-section may be returned to the vessel or, with the consent of the master of another vessel, placed on board that other vessel, at any time by an officer.

(3) The master, owner, agent and charterer of the vessel are, jointly and severally, liable to pay to the Commonwealth a fair sum for the cost of keeping and maintaining the prohibited immigrant while he is kept in custody in pursuance of sub-section (1) of this section and the cost of transporting the prohibited immigrant, and a custodian of the prohibited

immigrant, from the vessel to the place of custody and, if the prohibited immigrant is returned to the vessel or another vessel, from the place of custody to the vessel or that other vessel.

(4) A person shall not, for the purposes of this Act, be deemed to have entered Australia by reason only of his having been taken ashore in pursuance of sub-section (1) of this section.

37. (1) An officer may at any time go on board and search a vessel in which he has reason to suspect that there may be found a stowaway or a person seeking to enter Australia in circumstances in which he would become a prohibited immigrant.

Powers of entry and search.  
Cf. I.A. ss. 9a and 14a and regs. 8, 9 and 10.

(2) The master of a vessel shall do all things reasonably required by an officer to facilitate the boarding and searching of the vessel by the officer under the last preceding sub-section.

Amended by No. 10, 1966, s. 11.

Penalty: Four hundred dollars.

(3) An authorized officer may issue to an officer a search warrant in accordance with the prescribed form.

(4) A search warrant shall be expressed to remain in force for a specified period not exceeding three months and ceases to be in force at the expiration of the specified period.

(5) An officer having with him a search warrant issued to him under this section and remaining in force may, at any time in the day or night, enter and search any building, premises, vehicle or place in which he has reasonable cause to believe there may be found—

- (a) a prohibited immigrant or a deportee;
- (b) a person to whom a temporary entry permit has been issued subject to a condition with respect to the work that is to be performed by that person; or
- (c) any documents, books or papers relating to the immigration or proposed immigration of persons in circumstances in which they would have become, or would become, prohibited immigrants,

and may seize any such documents, books or papers and impound and detain them for such time as he thinks necessary.

(6) For the purposes of the exercise of his powers under this section an officer may stop any vessel or vehicle.

(7) An officer may use such reasonable force as is necessary for the exercise of his powers under this section.

Arrest of  
prohibited  
immigrant.  
Cf. I.A., s. 14a.

38. (1) An officer may, without warrant, arrest a person whom he reasonably supposes to be a prohibited immigrant, and a person so arrested may, subject to this section, be kept in the custody of the officer or of another officer.

(2) Where an officer arrests a person in pursuance of this section, the officer shall forthwith inform the person arrested of the reason for the arrest, and that officer or another officer having the custody of that person shall take him before a prescribed authority within forty-eight hours after the arrest or, if it is not practicable to bring him before a prescribed authority within that period, as soon as practicable after that period, and, if the arrested person is not so brought before a prescribed authority, he shall be released.

(3) Where a person is brought before a prescribed authority under this section, the prescribed authority shall inquire into the question whether there are reasonable grounds for supposing that that person is a prohibited immigrant and, if the prescribed authority is satisfied that there are such reasonable grounds, he may, by writing under his hand, authorize the detention of that person in custody for such period, not exceeding seven days from the date of the authorization, as the prescribed authority is satisfied is reasonably required in order to enable the Minister to consider whether that person is a prohibited immigrant and whether a deportation order should be made in respect of him, but otherwise the prescribed authority shall order that person to be released.

(4) A prescribed authority may, from time to time, extend the period of detention referred to in the last preceding sub-section.

(5) Subject to the next succeeding sub-section, at the expiration of the period of detention of a person under this section, that person shall be released.

(6) If, while a person is in custody under this section, an officer informs that person (whether before or after he has been brought before a prescribed authority) that a deportation order is in force in relation to him, the preceding provisions of this section cease to apply in relation to that person and he shall be deemed to have been thereupon arrested under the next succeeding section by the officer having his custody.

(7) Notwithstanding anything contained in this section, an authorized officer may at any time order the release of a person who is in custody under this section.

(8) Nothing contained in, or done under, this section prevents the Supreme Court of a State or Territory or the High Court from ordering the release from custody of a person held in custody under this section where the court finds that he is not a prohibited immigrant.

39. (1) Where an order for the deportation of a person is in force, an officer may, without warrant, arrest a person whom he reasonably supposes to be that person, and a person so arrested may, subject to this section, be kept in custody as a deportee in accordance with sub-section (6) of this section.

(2) Where an officer arrests a person in accordance with this section, the officer shall forthwith inform the person arrested of the reason for the arrest and shall, if that person so requests, furnish to him, as soon as practicable, particulars of the deportation order.

(3) If a person arrested under this section claims, within forty-eight hours after his arrest, that he is not the person in respect of whom the deportation order is in force, the officer having his custody shall ask him to make a statutory declaration to that effect and, if the person arrested makes such a declaration, take him before a prescribed authority within forty-eight hours after the making of the declaration or, if it is not practicable to take him before a prescribed authority within that period, as soon as practicable after that period, and, if the arrested person is not so brought before a prescribed authority, he shall be released.

(4) Where a person is brought before a prescribed authority under this section, the prescribed authority shall inquire into the question whether there are reasonable grounds for supposing that that person is a deportee and, if the prescribed authority is satisfied that there are such reasonable grounds, he shall, by writing under his hand, declare accordingly.

(5) Where a prescribed authority makes a declaration in accordance with the last preceding sub-section, the arrested person may be held in custody as a deportee in accordance with the next succeeding sub-section, but otherwise the prescribed authority shall direct the release of that person and he shall be released accordingly.

(6) A deportee may be kept in such custody as the Minister or an officer directs—

- (a) pending deportation, until he is placed on board a vessel for deportation;
- (b) at any port or place in Australia at which the vessel calls after he has been placed on board; or
- (c) on board the vessel until her departure from her last port or place of call in Australia.

(7) Notwithstanding anything contained in this section, an authorized officer may at any time order the release of a person who is in custody under this section.

(8) Nothing contained in, or done under, this section prevents the Supreme Court of a State or Territory or the High Court from ordering the release from custody of a person held in custody under this section

where the Court finds that there is no valid deportation order in force in relation to that person.

Prescribed  
authorities.

40. (1) The Minister may appoint as a prescribed authority for the purposes of the last two preceding sections a person who is or has been a Judge of a Federal Court or of the Supreme Court of a State or Territory or a barrister or solicitor of the High Court or of the Supreme Court of a State of not less than five years' standing.

(2) The Governor-General may arrange with the Governor-in-Council of a State for the performance by persons who hold office as Police, Stipendiary or Special Magistrates in that State of the functions of a prescribed authority under the last two preceding sections.

(3) Notice of an arrangement under the last preceding sub-section shall be published in the *Gazette*.<sup>6</sup>

(4) Where an arrangement under sub-section (2) of this section is in force, a person who holds an office specified in the arrangement is a prescribed authority for the purposes of the last two preceding sections.

(5) A person who holds office as a Police, Stipendiary or Special Magistrate of a Territory is a prescribed authority for the purposes of the last two preceding sections.

(6) A prescribed authority shall make a thorough investigation of the matter which he is required to inquire into, without regard to legal forms, and shall not be bound by any rules of evidence but may inform himself on any relevant matter in such manner as he thinks fit.

Persons in  
custody to  
have access  
to legal  
advice.

41. Where a person is in custody under this Act, the person having his custody shall, at the request of the person in custody, afford to him all reasonable facilities for making a statutory declaration for the purposes of this Act or for obtaining legal advice or taking legal proceedings in relation to his custody.

Persons may  
be required  
to answer  
questions.  
Cf. Regs. 14 and  
15.

42. (1) For the purpose of determining whether a person who has been arrested and is in custody under this Act is a prohibited immigrant or a deportee, an officer may put to that person such questions as he considers necessary and may move that person from place to place.

(2) Where an officer puts a question to a person in accordance with the last preceding sub-section after having informed that person that he is required to answer the question, that person shall not—

- (a) refuse or fail to answer the question; or
- (b) in answer to the question, make a statement which is false or misleading in a material particular.

Penalty: Four hundred dollars or imprisonment for six months.

(3) Where the last preceding sub-section is applicable in relation to a question put to a person; that person is not excused from answering the

Amended by  
No. 10, 1966,  
s. 11.

question on the ground that the answer might tend to incriminate him, but the answer to the question shall not be used as evidence against that person in any proceedings other than proceedings under that sub-section.

43. Where a person is in custody by virtue of this Act, an authorized officer may do all such things as are reasonably necessary for photographing or measuring that person or otherwise recording matters in order to facilitate his present or future identification.

Identification of persons in custody.  
Cf. Reg. 14.

44. (1) An authorized officer may, by notice in writing to the master of a vessel which has arrived in Australia not more than one month before the date of the notice, order that the vessel remain at a port or place for a reasonable time specified in the notice for the purpose of enabling a search of the vessel to be made in order to ascertain whether there are on the vessel any stowaways or any persons seeking to enter Australia in circumstances in which they would become prohibited immigrants.

Detention of vessel for purpose of search.  
Cf. I.A., s. 9c.

(2) The master of a vessel in respect of which an order is in force under this section shall not, during the time specified in the order, move the vessel without the consent of an authorized officer.

Amended by No. 10, 1966, s. 11.

Penalty: One thousand dollars.

45. (1) An authorized officer may, by writing under his hand, direct an officer to detain a vessel where, in the opinion of the authorized officer, the master, owner, agent or charterer of the vessel has been guilty of an offence against this Act.

Detention of vessel pending recovery of penalty.  
Cf. I.A., s. 10.

(2) Where a direction is given under the last preceding sub-section—

(a) the officer specified in the direction may detain the vessel at the place where she is found or cause her to be brought to another place specified by the authorized officer and detain her at that place; and

(b) the authorized officer shall forthwith give notice of the detention to the owner, charterer or agent of the vessel.

(3) For the purposes of the detention and other lawful dealings with the vessel, the officer specified in the direction is entitled to obtain such writ of assistance or other aid as may be obtained under the law relating to the Customs with respect to the seizure of vessels or goods.

(4) The detention of a vessel under this section shall cease if a bond with two sufficient sureties to the satisfaction of an authorized officer is given by the master, owner, agent or charterer of the vessel for the payment of any penalties that may be imposed in respect of the alleged offence.

(5) If, while the vessel is detained under this section, default is made in payment of any penalties imposed in respect of an offence against this Act by the master, owner, agent or charterer of the vessel, an authorized



officer may seize the vessel, and the like proceedings shall thereupon be taken for forfeiting and condemning the vessel as in the case of a vessel seized for breach of the law relating to the Customs, and the vessel shall be sold.

(6) The proceeds of the sale shall be applied firstly in payment of the penalties referred to in the last preceding sub-section and of all costs awarded in connexion with the proceedings in which the penalties were imposed or incurred in and about the sale and the proceedings leading to the sale, and the balance shall be payable to the owner and other persons having interests in the vessel before the condemnation and sale.

#### *Division 6—Immigration Agents*

Interpretation.  
Cf. I.A., s. 141.

46. For the purposes of this Division, a person shall be deemed to act as an immigration agent if he demands or receives a fee, commission or other reward for or in relation to services rendered or to be rendered by him in relation to—

- (a) an application or representations to a Minister, Department or authority of the Commonwealth with a view to the entry of a person into Australia as an immigrant; or
- (b) arranging or securing the passage of an intending immigrant to Australia.

Persons proposing to act as immigration agents to give notice to Department.  
Sub-section (1) amended by No. 10, 1966, s. 11; and No. 216, 1973, s. 1.

47. (1) A person shall not act as an immigration agent unless he has—

- (a) delivered to the Secretary to the Department of Immigration a notice of his intention to do so in accordance with the prescribed form and containing such information as is prescribed; and
- (b) received an acknowledgment in writing of receipt of the notice.

Penalty: Four hundred dollars or imprisonment for six months.

(2) Upon receipt by the Secretary to the Department of Immigration from a person of a notice referred to in paragraph (a) of the last preceding sub-section, the Secretary shall send, or cause to be sent, by post to that person, at the address specified by that person in the notice, an acknowledgement in writing of receipt of the notice.

Amended by No. 10, 1966, s. 11.

(3) A person shall not, in a notice under this section, furnish information that is false or misleading in a material particular.

Penalty: Four hundred dollars or imprisonment for six months.

(4) Sub-section (1) of this section does not apply to a person who was a registered agent under the *Immigration Act* 1901-1949 immediately before the commencement of this Part.

48. (1) Where the Minister is satisfied that a person is not a fit and proper person to act as an immigration agent, the Minister may, by notice in writing, direct that person not to act as an immigration agent.

Minister may direct persons not to act as immigration agents.  
Cf. I.A., s. 147.

(2) Where a direction under the last preceding sub-section is in force in relation to a person, that person shall not--

Amended by No. 10, 1966, s. 11.

- (a) act as an immigration agent;
- (b) describe himself as an immigration agent or by words which suggest that he is a person who acts, or is prepared to act, as an immigration agent; or
- (c) advertise that he renders or is prepared to render services of a kind referred to in section forty-six of this Act.

Penalty: Four hundred dollars or imprisonment for six months.

(3) A person in respect of whom a direction is in force under sub-section (1) of this section is not entitled to sue for or set-off any fee, commission or other reward for services of a kind referred to in section forty-six of this Act.

49. A person shall not describe himself by words which suggest that he is registered or approved as a person who may act as an immigration agent.

Persons not to describe themselves as registered or approved immigration agents.

Penalty: Four hundred dollars or imprisonment for six months.

Amended by No. 10, 1966, s. 11.

50. (1) The regulations may prescribe the maximum charges that may be made for any services of a kind referred to in section forty-six of this Act, and any regulation made by virtue of this sub-section is applicable to services rendered while the regulation is in force.

Maximum charges.  
Cf. I.A., s. 14L.

(2) Where a person proposes to render, or has, after the commencement of this Part, rendered, a service of a kind referred to in section forty-six of this Act and the maximum charge for that service is not prescribed, or was not prescribed at the time the service was rendered, as the case may be, the Minister may, by notice in writing to that person, fix the maximum charge that may be made for that service.

(3) The Minister shall not fix the maximum charge for a service later than one year after the service was rendered.

(4) Where the maximum charge for a service has been prescribed or fixed in pursuance of this section, then, notwithstanding the terms of any agreement, a person shall not demand or receive in respect of that service an amount which, together with any amount previously received in respect of that service, exceeds the maximum charge so prescribed or fixed.

Amended by No. 10, 1966, s. 11.

Penalty: Four hundred dollars or imprisonment for six months.

(5) An amount received in respect of a service referred to in the last preceding sub-section, whether before or after the maximum charge was prescribed or fixed, is, to the extent that it exceeds that maximum, repayable and may be sued for and recovered in a court of competent jurisdiction.

Immigration agents liable to furnish particulars of fees, &c.  
Cf. I.A., s. 14u

51. (1) A person shall, if required so to do by an authorized officer by notice in writing, furnish in writing to the authorized officer particulars of any fee, commission or other reward charged or proposed to be charged by him, or of any agreement entered into or proposed to be entered into by him, in respect of any services of a kind referred to in section forty-six of this Act.

Amended by No. 10, 1966, s. 11.

(2) A person shall not—

- (a) refuse or fail to furnish, within the time specified in the requirement, any particulars which he is required under this section to furnish; or
- (b) make a false statement in or in connexion with those particulars.

Penalty: Four hundred dollars or imprisonment for six months.

Undertaking to provide passage to be carried out within a reasonable time.  
Cf. I.A., s. 14n.  
Amended by No. 10, 1966, s. 11.

52. Where a person has, whether before or after the commencement of this Part, been paid moneys in consideration of a promise to provide or arrange a passage to Australia for an intending immigrant, the Minister may, by notice in writing served on that person, determine a time within which it is reasonable that the passage should be provided or arranged, and where such a determination has been made, that person shall, notwithstanding the terms of any agreement, either—

- (a) provide or arrange the passage within the time determined by the Minister; or
- (b) within that time refund those moneys to the person by whom they were so paid.

Penalty: One thousand dollars or imprisonment for two years.

Provisions relating to offences.  
Cf. I.A., s. 14f.  
Sub-section (1) amended by No. 10, 1966, s. 11.

53. (1) Where a person convicted of an offence against this Division is a body corporate, the penalty for the offence is—

- (a) where the prescribed penalty for the offence apart from this section is Four hundred dollars or imprisonment for six months—a fine not exceeding Eight hundred dollars; and
- (b) where the prescribed penalty for the offence apart from this section is One thousand dollars or imprisonment for two years—a fine not exceeding Two thousand dollars.

(2) Where a person is convicted by a court of an offence against this Division and another person has suffered loss by reason of that offence, the court may, in addition to any penalty imposed upon the offender, order the offender to make to the person who suffered the loss such

reparation, by way of money payment or otherwise, as the court thinks fit.

(3) Where a court has made an order under this section for the making of reparation by way of money payment, a certificate under the hand of the clerk or other appropriate officer of the court, specifying the amount ordered to be paid and the persons by whom and to whom the amount is payable, may be filed in a court having civil jurisdiction to the extent of that amount and is thereupon enforceable in all respects as a final judgment of that court.

(4) For the purposes of this section, where a person is convicted of an offence against sub-section (4) of section fifty of this Act and the person from whom the amount in respect of the service was demanded or received has paid to the offender, in respect of the service, an amount exceeding the fixed maximum, that person shall be deemed to have suffered loss by reason of the offence to the extent of the amount of the excess.

#### *Division 7—General*

54. (1) An authorized officer may require and take security for compliance with the provisions of this Act or the regulations or with any condition imposed in pursuance of, or for the purposes of, this Act or the regulations—

Securities.  
Cf. 1A, s. 14D  
and Customs Act  
1901-1957, s. 4B.

(a) by a deposit of cash, Treasury Bonds or negotiable instruments, together with a memorandum of deposit in a form approved by the Minister; or

(b) in accordance with a form of security approved by the Minister.

(2) A security given in accordance with a form approved by the Minister shall, without sealing, bind its subscribers as if it were sealed and, unless otherwise provided in the security, jointly and severally and for the full amount.

(3) Whenever a security under this Act is put in suit, the production of the security without further proof shall entitle the Commonwealth to judgment for their stated liabilities against the persons appearing to have executed the security unless the defendants prove compliance with the conditions of the security or that the security was not executed by them or release or satisfaction.

(4) If it appears to the court that a non-compliance with a condition of a security under this Act has occurred, the security shall not be deemed to have been discharged or invalidated, and the subscribers shall not be deemed to have been released or discharged from liability, by reason of—

(a) an extension of time or other concession;

- (b) any consent to, or acquiescence in, a previous non-compliance with a condition; or
- (c) any failure to bring suit against the subscribers upon the occurrence of a previous non-compliance with the condition.

Proof of certain matters recited in deportation orders.  
 Cf. 1 A. s. 5(3), (3A), (3B), (3C), (4), (4A).

55. (1) In any proceedings before a court in which the validity or application of a deportation order is in issue, the production of the deportation order, or of a document certified under the hand of the Minister to be a copy of the deportation order, if it contains a statement, in relation to the person to whom the order relates, that—

- (a) he was not born in Australia;
- (b) he is, or was at a particular time, an alien;
- (c) he entered Australia before, on or after a specified date;
- (d) he was not, at the time he entered Australia or at any other specified time, the holder of, or a person included in, an entry permit;
- (e) he was the holder of a temporary entry permit which has expired or been cancelled;
- (f) within the meaning of a provision of this Act, he evaded an officer for the purpose of entering Australia; or
- (g) for the purpose of securing entry into Australia, he produced to an officer a permit, certificate, passport, visa, identification card or other document which was not issued to him or was forged or was obtained by false representations.

shall, in the absence of proof to the contrary, be deemed to be proof of that statement.

(2) Proof to the contrary for the purposes of the last preceding subsection on behalf of the person to whom the deportation order relates shall be by the personal evidence of that person, with or without other evidence.

(3) Proof to the contrary by the personal evidence of a person in respect of a matter referred to in paragraph (c), (d), (f) or (g) of subsection (1) of this section shall not (unless it is proved that that person was born in Australia) be deemed to have been given unless that person in his personal evidence states truly the name of the vessel or, if the vessel was an aircraft, the name of the owner or operator of the aircraft, by which he travelled to Australia and the date and place of his arrival in Australia.

(4) Where a party to proceedings applies to the court for an adjournment of the proceedings for the purpose of enabling him to obtain evidence in rebuttal of any evidence tendered as proof to the contrary for the purposes of this section, the court shall grant an adjournment for such reasonable time as is necessary for that purpose.

(5) In any proceedings in which a person gives personal evidence by way of proof to the contrary in relation to a matter for the purposes of this section, that person is not excused from answering a question put to him on the ground that the answer may tend to incriminate him or make him liable to a penalty, but his answer is not admissible in evidence against him in any other proceedings, other than a prosecution for perjury.

(6) Nothing in this section shall be construed as placing on a party the onus of proving any matter of which evidence may be given under this section by production of a deportation order or of a copy of a deportation order.

56. (1) In a prosecution under section twenty-seven of this Act, an averment of the prosecutor, contained in the information or complaint, stating, in relation to the defendant, a matter specified in any of the paragraphs of sub-section (1) of the last preceding section shall be deemed to be proved in the absence of proof to the contrary by the personal evidence of the defendant either with or without other evidence.

Averments.  
CE 1A, 15(3),  
(3a), (3b), (3c),  
(4), (4a).

(2) The provisions of sub-sections (3), (4) and (5) of the last preceding section apply in relation to proceedings in which an averment is made in accordance with this section in like manner as they apply in relation to proceedings in which a deportation order, or a copy of a deportation order, is admitted in evidence in accordance with that section.

56A. (1) Where, at or after the departure from a port in Australia of a vessel that has entered Australia from overseas, the master, owner, charterer or agent of the vessel reports in writing to an officer that a specified person was a member of the crew of the vessel on board the vessel at the time of its arrival at that port and is or was absent from the vessel at the time of its departure from that port, and states in the report whether that member left the vessel at that port with leave or without leave, that report is, for the purposes of proceedings under or in relation to this Act, evidence of the matters contained in the report and—

Reports of  
absences of  
crews of  
vessels.  
Issued by  
No. 10, 1966,  
s. 8.

- (a) if the report states that the member left the vessel with leave—that the member entered Australia, with leave, from the vessel during the vessel's stay at that port and remained in Australia after the vessel left that port; or
- (b) if the report states that the member left the vessel without leave—that the member entered Australia, without leave, from the vessel during the vessel's stay at that port.

(2) Where, during the stay at a port in Australia of a vessel that has entered Australia from overseas, the master of the vessel reports in writing to an officer that a specified person was included in the complement of the vessel, or a member of the crew of the vessel, on board the vessel at the time of its arrival at that port and—

(a) at any time during the vessel's stay at that port, left the vessel without leave; or

(b) at any time during the vessel's stay at that port, left the vessel with leave, but has become absent without leave,

the report is, for the purposes of proceedings under or in relation to this Act, evidence of the matters contained in the report.

Proof of certain other matters.

Cf. 1A, s. 5(3), (3A), (3B), (3C), (4), (4A).

Amended by No. 87, 1964, s. 4; and No. 10, 1966, s. 9.

57. In proceedings in a court under this Act or in relation to a deportation order—

(a) official documents of the Commonwealth or of a State or Territory, and letters and telegrams, or copies of letters and telegrams, and affidavits produced out of official custody and purporting to have been sent or made by an officer, are, if they contain information or statements upon matters relevant to the proceedings, admissible as evidence of that information or of the matters stated;

(b) where—

(i) there is produced to the court a document that purports to be an identification card or other document of identification in respect of a person and to bear the personal description and photograph of the person to whom the document relates, together with a certificate purporting to be signed by an officer certifying that the document was delivered to an officer by the master, owner, charterer or agent of a specified vessel as relating to a person who was a member of the crew of the vessel when the vessel arrived at a specified port in Australia on a specified date; and

(ii) the personal description and photograph appear to be, or to be capable of being, those of a particular person, being a person having a connexion with the proceedings,

the document and certificate are evidence that that person is the person to whom the document relates and was a member of the crew of that vessel when that vessel arrived at that port on that date;

(c) the production out of official custody of a document purporting to be a report made by the master, owner, charterer or agent of a vessel to an officer as to a matter relevant to the operation of this Act is evidence that the document is such a report;

(d) for the purpose of proving that a person entered Australia from, or left Australia in, a vessel, a list of any passengers in that vessel, or a passenger card relating to a passenger in that vessel, furnished in accordance with the regulations is admissible in evidence, and production of such a list or passenger card bearing a name that is the same as the name of that person shall be deemed to be proof that that person entered Australia from, or

left Australia in, that vessel on the voyage in respect of which the list or passenger card was furnished, unless the contrary is proved; and

(e) for the purpose of proving that a person has, in a place outside Australia, been convicted of a particular crime (including an attempt to commit a crime) and has been sentenced to a particular sentence in respect of the conviction, fingerprint records, photographs and documents or copies thereof, and certificates in relation to any fingerprint records, photographs or documents or copies thereof, are admissible in the evidence if they—

(i) are produced out of the custody of a police or prison officer of the Commonwealth or of a State or Territory; and

(ii) purport to be certified or given under the hand of a police or prison officer, or like authority, of a place outside Australia,

and any such certificate is evidence of the matters stated in the certificate.

58. (1) The Minister may, on behalf of the Commonwealth, cause to be established and maintained premises and places (in this section referred to as "immigrant centres") for the reception, accommodation or training of immigrants. Immigrant centres.

(2) Immigrants may be admitted to immigrant centres on such terms and conditions, and subject to the payment of such charges, as the Minister approves.

(3) The regulations may make provision for and in relation to the regulation of immigrant centres, including provision with respect to the establishment and operation of canteen services in immigrant centres, the conduct or control of persons in immigrant centres and the removal of persons from immigrant centres.

(4) Nothing in this section shall be deemed to affect any arrangements made or to be made in relation to, or the carrying on of the business of, the company known as Commonwealth Hostels Limited.

### PART III—EMIGRATION OF CERTAIN CHILDREN

59. In this Part, "child" means a person under the age of seventeen years.

Heading substituted by No. 16, 1973, s. 4.

Definition. Substituted by No. 16, 1973, s. 5.



Section 60  
repealed by  
No. 216, 1973,  
s. 3.

Preservation  
of State laws.  
Amended by  
No. 216, 1973,  
s. 3.

61. Nothing in this Part shall be read as intended to prevent or restrict the operation of any law of a State or Territory under which—

- (a) action may be taken to prevent a child from leaving Australia or being taken or sent out of Australia; or
- (b) a person may be punished in respect of the taking or sending of a child out of Australia.

Taking of  
certain  
children out  
of Australia  
prohibited.  
Sub-section (1)  
amended by  
No. 10, 1966,  
s. 11.

62. (1) Where—

- (a) there is in force in relation to a child an order (including an interim order) of a court in Australia entitling a person, either wholly or partly, to the custody or guardianship of, or to access to, a child; or
- (b) a person has instituted proceedings in a court in Australia in which he seeks the making of such an order in his favour in relation to a child and those proceedings are pending,

a person (other than the person referred to in paragraph (a) or (b) of this sub-section, as the case may be) who was or is a party to the proceedings in which the order was made or is sought, or is acting on behalf of, or at the request of, a person who was or is such a party, shall not take or send, or attempt to take or send, the child from Australia to a place outside Australia except with the consent in writing of the person referred to in paragraph (a) or (b) of this sub-section or in accordance with an order of a court made in pursuance of the law of a State or Territory or a law of the Commonwealth (other than this Act) at the time of or after the making of the order or the institution of the proceedings, as the case may be.

Penalty: One thousand dollars or imprisonment for six months.

(2) For the purposes of this section, proceedings shall be deemed to be pending in a court if an appeal against a decision of that court in those proceedings has been instituted and is pending.

(3) Sub-section (1) of this section applies to a person notwithstanding that that person is one of the persons having or claiming rights to the custody or guardianship of, or of access to, the child.

63. (1) Where a person referred to in paragraph (a) or (b) of sub-section (1) of the last preceding section has served on the master, owner, agent or charterer of a vessel a statutory declaration of that person, in relation to the order or proceedings, in accordance with the next succeeding sub-section, the master, owner, agent or charterer shall not, without reasonable excuse, while the order continues in force or the proceedings remain pending, permit the child referred to in the declaration to leave a port or place in Australia in the vessel for a destination outside Australia otherwise than in the company of, or with the consent in writing of, that person or in accordance with an order of a court made in pursuance of the law of a State or Territory or a law of the Commonwealth (other than this Act) at the time of or after the making of the order, or the institution of the proceedings, referred to in the declaration, as the case may be.

Obligations  
of owners,  
&c., of  
vessels.  
Sub-section (1)  
amended by  
No. 10, 1966,  
s. 11.

Penalty: One thousand dollars.

(2) A statutory declaration for the purposes of the last preceding sub-section shall be made within seven days before the date of its service and shall contain full particulars of the order or proceedings to which it relates, including—

- (a) the full name of the child and the date of its birth;
- (b) the full names of the parties to the proceedings in which the order was made or is sought;
- (c) where the declaration relates to pending proceedings, the name of the court and the nature and date of institution of the proceedings and a statement that the proceedings are pending at the date of the declaration; and
- (d) where the declaration relates to an order, the terms of the order,

and shall contain such other matters, if any, as are prescribed.

(3) Service of a declaration under this section on the owner, agent or charterer of a vessel may be effected by delivering the declaration at, or sending it by registered post addressed to him at, his principal place of business in Australia.

(4) The master, owner, agent or charterer of a vessel is not liable in any civil or criminal proceedings in respect of anything done by him in good faith for the purpose of complying with his obligations under this section.

Section 64  
repealed by  
No. 16, 1973,  
s. 6.

#### PART IV—MISCELLANEOUS

Obstructing  
or deceiving  
officers.

Cf. Regs. 13, 16  
and 19.

Amended by  
No. 10, 1966,  
s. 11.

65. A person shall not obstruct, hinder, deceive or mislead an officer in the exercise of his powers or the performance of his duties under or for the purposes of this Act or the regulations.

Penalty: Four hundred dollars or imprisonment for six months.

Identification  
card to be  
deemed to  
continue to  
be in a form  
approved by  
the Minister.

Inserted by  
No. 10, 1966,  
s. 10.

65A. Where the Minister revokes his approval of a form of identification card in relation to members of the crews of vessels, an identification card in accordance with that form signed by the master of a vessel not later than three months after the date of that revocation shall, notwithstanding that revocation, be deemed, for the purposes of this Act, to continue to be an identification card in accordance with a form approved by the Minister.

Institution of  
prosecutions.

66. A prosecution for an offence against this Act or the regulations, other than an offence under Part III of this Act, shall not be instituted except by an authorized officer.

Regulations.

Cf. 1A, s. 16.

Sub-section (1)  
amended by  
No. 87, 1964,  
s. 5; and No. 10,  
1966, s. 11.

67. (1) The Governor-General may make regulations, not inconsistent with this Act, prescribing all matters which by this Act are required or permitted to be prescribed or which are necessary or convenient to be prescribed for carrying out or giving effect to this Act and, in particular—

(a) imposing and providing for the collection of fees in respect of documents issued under or for the purposes of this Act or the regulations;

(aa) making provision for or in relation to the furnishing or obtaining of information with respect to—

(i) persons on board a vessel arriving at a port in Australia in the course of, or at the conclusion of, a voyage or flight that commenced at, or during which the vessel called at, a place outside Australia; and

(ii) persons on board a vessel leaving a port in Australia and bound for, or calling at, a place outside Australia;

(b) prescribing the practice and procedure in relation to proceedings before a Commissioner or a prescribed authority under this Act, including the summoning of witnesses, the production of documents, the taking of evidence on oath or affirmation, the administering of oaths or affirmations and the payment of expenses of witnesses;

(c) requiring maintenance guarantees to be given, in such circumstances as are prescribed or as the Minister thinks fit, in relation

to persons seeking to enter, or remain in, Australia and providing for the enforcement of such guarantees and the imposition on persons who give such guarantees of liabilities in respect of the maintenance of, and other expenditure in connexion with, the persons in respect of whom the guarantees are given; and

- (d) prescribing penalties not exceeding a fine of Four hundred dollars or imprisonment for six months in respect of offences against the regulations.

(2) Regulations in respect of a matter referred to in paragraph (c) of the last preceding sub-section may apply in relation to maintenance guarantees given before the commencement of this Part in accordance with the regulations that were in force under any of the Acts repealed by this Act.

## THE SCHEDULE

Section 4

### ACTS RELATING TO IMMIGRATION AND DEPORTATION REPEALED

*Immigration Restriction Act 1901.*  
*Immigration Restriction Amendment Act 1905.*  
*Immigration Restriction Act 1908.*  
*Immigration Restriction Act 1910.*  
*Immigration Act 1912.*  
*Immigration Act 1920.*  
*Immigration Act 1924.*  
*Immigration Act 1925.*  
*Immigration Act 1930.*  
*Immigration Act 1932.*  
*Immigration Act 1933.*  
*Immigration Act 1935.*  
*Immigration Act 1940.*  
*Immigration Act 1948.*  
*Immigration Act 1949.*  
*Pacific Island Labourers Act 1901.*  
*Pacific Island Labourers Act 1906.*  
*Aliens Deportation Act 1948.*

---

## NOTES

1. The *Migration Act 1958-1973* comprises the *Migration Act 1958* as amended by the other Acts specified in the following table:

Act	Number and year	Date of Assent	Date of commencement
<i>Migration Act 1958</i>	No. 62, 1958	8 Oct 1958	Parts I, II and IV: 1 June 1959 ( <i>see Gazette 1959, p. 1831</i> ) Part III: 10 Nov 1958 ( <i>see Gazette 1958, p. 3857</i> )
<i>Migration Act 1964</i>	No. 87, 1964	5 Nov 1964	5 Nov 1964
<i>Migration Act 1966</i>	No. 10, 1966	6 May 1966	6 May 1966
<i>Migration Act 1973</i>	No. 16, 1973	11 Apr 1973	11 Apr 1973
<i>Statute Law Revision Act 1973</i>	No. 216, 1973	19 Dec 1973	31 Dec 1973

- 2.—S. 3 (1)—Now cited as the *Australian Citizenship Act 1948-1973*.
- 3.—Part II By sub-section 25 (7) of the *Australian Citizenship Act 1948-1973*, a person who enters Australia after the commencement of this Part and is a prohibited immigrant within the meaning of this Act is not eligible to become an Australian citizen under that section.
- 4.—S. 6 Section 39 of the *Commonwealth Electoral Act 1918-1973* prevents a person who is a prohibited immigrant under this section or the holder of a temporary entry permit under this section from enrolling as an elector under that Act.
- 5.—S. 16 (1)—The date of commencement of the *Immigration Restriction Act 1901* was 23 December 1901.
- 6.—S. 40 (3)—For notices under this sub-section, *see Gazette 1959, p. 2133 and Gazette 1972, No. 2, p. 5.*

2047